

(財)女性のためのアジア平和国民基金

# 第89回理事会

平成18年11月



## 身近な司法 実現遠くない

元東京都副知事で、厚生労働省の「ハンセン病問題に関する検証会議」議長を務めた、法テラスの金平輝子理事長（79）は、今後の展望や課題を聞いた。

——法テラスの目指すものは。

どこに住んでいても、平等に法的なサービスを受けられる社会。トラブルに直面して泣き寝入りするとか、暴力

### 金平輝子理事長に聞く

困の介入を招く状況すらあった。適切な情報を得られれば、社会的弱者も解決の近道を知り、「力」ではなく「理」で紛争を解決することが出来る。

——単に相談窓口の紹介にとどまれば、利用者の期待には十分応えられないのではなか。

個々の利用者の事情を考慮して、最適な相談先を紹介すること。相談内容を集約することで、振り込め詐欺のように社会問題化したトラブルも、早期の介入を招く状況すらあった。適切な情報を得られれば、社会的弱者も解決の近道を知り、「力」ではなく「理」で紛争を解決することが出来る。

——常勤のスタッフ弁護士が22人と少なく、体制の不十分さを指摘する所もある。

まだ十分とは言えないが、法曹人口が増加していく中で、若い弁護士が法テラスへの関心も高まっている。事務所経営などに悩まずに弁護士を磨きたいと、司法過疎地域に赴任する弁護士もいる。司法が身近な社会の実現は、近い将来ではないと認識している。

## 石原 信雄 ―元内閣官房副長官



いしはら・のぶお  
1926年生まれ。東大（総務省）事務次官などを経て87～95年、内閣官房副長官。現職は財団法人・地方自治研究機構会長。

政治主導の官僚改革狙った補佐官強化  
副長官職の財務OBの指定席化に懸念

# 政府内の調整に不安

補佐官の官僚たちは、安  
内閣を不安な気持ちで見つ  
めていたのではないだろう  
か。補佐官は、財政再建  
を図るにあたり徹底した歳出  
削減に手配を固めているが、  
歳入カットとは各省庁の仕事  
を減らし、官制削減を狭める

ことにほかならないからだ。  
私は竹下内閣から7代の首  
相の下で内閣官房副長官（事  
務）を務めた。首相官邸で各  
省庁との政策調整に長けた  
り、役人は身を削る改革が極  
めて苦手だとつくづく感じ  
た。所管の行政を守り、広げ

を勝任した。「政治家が主導  
しなければ、本物の改革はで  
きない」との思いを強く持つ  
たに違いない。安倍内閣は脱  
官僚、「政治主導」といわれ  
るが、小泉内閣での経験や教  
訓が今回の布陣に表れたと私  
は理解している。

また、政策は幅広い行政執  
行の過程で生じる問題から出  
てくるものだ。「役人抜き」  
「役人排除」の立案スタイル  
は格好はいいが、特定の人た  
ちの主張に傾く危うさがあ

る。行政の実務者の意見に耳  
を傾ける、政治家の「雅量」  
を望みたい。  
旧大蔵省OBで、元国土庁  
事務次官の的場順三氏の官房  
副長官（事務）起用も注目さ  
れた。これまでは旧自治、厚  
生など旧内務省系の事務次官  
OBが務めてきており、官僚  
の世界では驚きと警戒感を持  
って迎えられた。しかし副長  
官ポストは首相の政治任用の  
最たるものだ。私も政権交代  
のたびに辞表を出した。

政治主導の官僚改革狙った補佐官強化  
副長官職の財務OBの指定席化に懸念

また、政策は幅広い行政執  
行の過程で生じる問題から出  
てくるものだ。「役人抜き」  
「役人排除」の立案スタイル  
は格好はいいが、特定の人た  
ちの主張に傾く危うさがあ

る。行政の実務者の意見に耳  
を傾ける、政治家の「雅量」  
を望みたい。  
旧大蔵省OBで、元国土庁  
事務次官の的場順三氏の官房  
副長官（事務）起用も注目さ  
れた。これまでは旧自治、厚  
生など旧内務省系の事務次官  
OBが務めてきており、官僚  
の世界では驚きと警戒感を持  
って迎えられた。しかし副長  
官ポストは首相の政治任用の  
最たるものだ。私も政権交代  
のたびに辞表を出した。

2006.10.21 毎日(朝) 21面

# 核と戦後民主主義

時代はいま大きな節目を迎えている。日本の近代150年の歴史をふまえた思索を重ねてきた哲学者の鶴見俊輔さんとともに、今日の課題をつらぬく視座をさぐりたい。シリーズ初回は、政治学者の菱尚中さんと、危うい政治状況の奥にあるものを掘り起こしてもらった。



劉談する納兒後轉さん(な)と高田さん(たかた)京都市左京区で

つるみ・しゅんすけ 84歳。46年に雑誌「思想の科学」を創刊。ベ平連の運動も担った。『共同研究 転機』『戦時期日本の精神史』や大衆文化評論など。

カン・サンジュン 56歳。熊本県出身。在日韓国人2世。早稲田大卒。東大大学院教授。著書に『東北アジア共同の家をめざして』『在日』『愛国の作法』など。

対談相手 姜尚中さん 政治学者

戦後の焼け野原の風景が、憲法の前文・9条につながった(鶴見)

このままだと、核という魔物に乗った平和しかないことに(姜)

後、北朝鮮の核について、ただ布い、脅威だといふだけの議論ではない。今後、武力衝突が偶発的に起きるかもしれない。第2次朝鮮戦争になるのかと暗潮とした気持ちになることがあつた。

舘見 戦後、連合国軍総司令部（GHQ）で憲法起草を担当したアメリカ人が東京に来たとき、そこは緑野原だった。原爆も二つ落ちていた。その風景を前にして、アメリカ人としてではなく、人間としての感情がわき出たんじゃないか。ひとことと人間が人間にするものなど、その風景が憲法の前文、戦争放棄の9条につながつた。外国人が関与したから憲法のためだけに決つてない。

原爆の前編は人類の歴史にかかわる、必要もないのに原爆を落とすという罪がアメリカにはある。これを日本から筋の通つた言葉で突き返すのが

日本の核心にある問題だ。  
 藝 日本は、日米の提携に  
 二つの被爆体験を持つてい  
 る。それをもつて振り起せば  
 は、アメリカの核と北朝鮮の  
 核をうつて返せる。痛みの中  
 から生まれた療法、痛みの中  
 から生みかえり出す、押しつけ  
 が押しつけてでないかという驕  
 驕を失っているのは、あまりに  
 もつたない。

この60年間、被爆とは何かを  
 をアメリカに分くらせるのが  
 日本の責任だった。アメリカ  
 がそれを分かっているといひ  
 うことの延長線上に、北朝鮮  
 の核をはじめ核拡散の問題も  
 ある。このまゝだと、核とい  
 う魔物に乗った平和しかあ

ないことになる。

舞臺、ところが、アメリカに何か附くことは、大学で受けた人間のすることではなからんと思つてゐる人たちがいる。

民族が國でまとまるという考え方は、見込みのある、生産的な考え方だつた。ところが、サウエボから始まる原爆投下に至つた二つの大戦をへて分かつたことは、固いところものが保持されて、國に固いものが服従する限り、人類そのものの歴史が続かないといふことだ。科学者が國家のビッグマネーとながつて博識をつくり、著としてしまふんだ。新しい形がでなきゃいけない。おくにはどこですす

か、と問ふと、きのうの如くから地理を考へ、國家へは不服従の態度を取る立場があるたるところ、神國の王朝やアイヌの理想と統制から、機動的な意味を引き出さねばならない。

義 北朝鮮を見るとき、格子窓から定例化されたものを、北朝鮮が米國と60年以上休戦協定のまま維持している歴史から、異なる見方ができるのではないか、朝鮮半島の分断が解消されると、国や民族がまた一柱になるところとは違ふ何かをつくれるかどうか、日本と朝鮮半島の人口を合むけるる像人、東アジアの三つになつてほしい。

美辭麗句に覆われ、政治にリアリズムが足りない(姜)

勢い、政治が國の形  
容として「美しい」一環とし  
たが、薩長が目標を達しな  
く使つのはなぜか。政治情  
勢が善美醜陋におきかえられ  
ている。美辭麗句に覆われ、  
政治、權力のリアリズムが足  
りない。

た。江戸時代の寺屋のおか  
けた。多様な廟が寺々寺屋  
の乱雑な風景のなかで、大變  
な人材が生まれた。純々善き  
そんばの能力は外国と比べ  
ても劣らなかつたようだ。と  
ころが、「鈍い」なかつたこと  
とを「勝つた」とすりかえた

概念をきれいに整理して箱に詰めて積み上げる。そこでは混沌とした部分は切り捨てられる。残滓のないまま、箱を積み上げていくと効率はいい。しかし、最後は戦争になるんじゃないのか。

い、それよりフコギ野跡遺手に  
なれどいった。

憲法に「日本国民」とある  
るのを読んで、日本国籍がな  
い日は年金受給に面出来な  
くともえなから、現金がな  
いと将来が考えられないと  
親がいった理由がわかった。

とは通う順みをもつてゐると感じた。今は憲法を生かさずして何を生かすかと思ふ。

私は素朴に、朝鮮半島の人とこの列島に住む人が仲良くできる風景を見たい。そのための方便として政治がある。それなのに政治が国家のため

るのには、二つ以上の世界を知らないことだ。小栗前衛は神奈川・安房前相は東京出身だが、光の当る世界にずっといる甘いか、平坂で悪行きを感じられない。

鱈見 叩えられている所が聞こえないんだね。今の政治家には物事を大きくくちがひが欠けている。

人間が偉いとなる。ここで水琴の母が遠いが起こった。夢「大きくくちがひ、ためめ」の扱つては向でしようか。

鱈見 私が通つた小学校でのがたが、算術の時間に先生が黒板に口を描き、同じものを描きなさいといった。一人だけ、真つ黒に塗つたなかに白く口を残して描いた。答え

影 01代 杉本昌弘が考  
 っている「金」が、ま  
 じの作家、金達野さんと文章  
 をしたとき、「はし」の持ち方  
 がおかしい。朝鮮ではそうし  
 ないよ、といわれた。ちゃん  
 ときたら、それは金さんの  
 プランどですね。

と云ふ世界なんだ、と。  
 鶴見 駐後、GHQが憲法を起草したとき、「オール・ナチュラール・パーソンズ(すべての自然な人)」という文句が提案された。人はすべて差別されてはならない。ここに米案への指針がある。

姜 日本も朝鮮半島も近代の始まりには島国としたエネ

を認められて運動きできない。政治が少しでも変わればと思つてコミットしている。だが、自分の時代が変わるかどうか。

● 意見 昔の日本は、近代日本にどうしての半ボイントが、また、感嘆した日本人の目で見ると、日本の中半ボイントになる。確かに先づは長い男、努力して、いい、いい。

利通ら、幕末から明治にかけて大きく時代をつかひ人が出

は「こじやない、いくつもあつて、それが劇楽（ゲツラク）なものなんだ。しかし、学校では正しい答えは一つと決めてしま

着ではないかと大変なトラウマになった。勉強してその世界から離れたと思うた。母親は、大学を出ても就職は、な

ルギーがあつたはずだ。それなのに朝鮮史は敗北の歴史だ。

一歩踏み出さかないんじゃないか。

# 慰安婦 米下院、採択見送りへ

【ワシントン＝山本秀一】米下院は、米議会関係者から残り任期の消化目標として、中間選挙（来月7日）前の米議会審議が9月までに果敢的に終了したことを、米下院国際関係委員会を通過していた慰安婦問題に関する対日非難決議案は、本会議では採決を求めている」と述べ、採決されない見通しが強まれば、中間選挙後に招集される。

慰安婦問題に関する対日非難決議案はこの10年間、米議会に提出されては立ち消えになってきた。今回はエバンス議員の引退案となり、人権問題に関心の強いクリストフ・スミス議員（共和党）が共同提案に加わるなど超党派の支持を集め、9月13日の委員会通過にきづけていた。

2006.10.2 産経 7面



「何もしない」外務省(左は谷内事務次官)

# 新聞が報じなかった 米「従軍慰安婦」非難決議

大した問題ではない、と見過ごすのだろうか。

9月13日、米下院議会の国際関係委員会が、戦時中に日本が動員したという、従軍慰安婦に関する決議を採択した。

「採択に積極的だったのは、民主党のレーン・ユバンス議員と、共和党のクリストファー・スミス議員の二人です。彼らは今年4月、日本

「大使館などを通じ、あらゆるチャンネルで採択されないよう働きかけてきました。決議には全て正しいことが書かれているようでもなく残念です。今後は下院の本会議で採決されることのないよう、働きかけを続けていきます。しかし、韓国や中国などと泥仕合になっても困るので……」(外務省アジア大洋州局)

「相変わらずの及び腰だが、この事実を報じた日本の新聞は、中国・人民日報と業務提携している朝日のみ。ホームページで「米下院国際関係委、日本の慰安婦関連決議案を可決」と、「中国新聞網」の記事を紹介した。外交評論家の田久保忠衛氏は言う。

「朝日の論調は中国紙と同じですから飛び付いたのでしょう。他の新聞は大した問題ではない、と勝手に判断したのだと思います。一方、外務省の対応も酷い。従軍慰安婦問題ではすでに、日本軍当局の強制は無かったと決着している。決議は若い女性を性的苦役に就かせる目的で誘拐した」と認定していますが、事実誤認も甚だしい。外務省は、日本の立場や見解をあらゆる場面で主張するのが仕事。息遣の跡りは透れられませんか」

「朝日の論調は中国紙と同じですから飛び付いたのでしょう。他の新聞は大した問題ではない、と勝手に判断したのだと思います。一方、外務省の対応も酷い。従軍慰安婦問題ではすでに、日本軍当局の強制は無かったと決着している。決議は若い女性を性的苦役に就かせる目的で誘拐した」と認定していますが、事実誤認も甚だしい。外務省は、日本の立場や見解をあらゆる場面で主張するのが仕事。息遣の跡りは透れられませんか」

週刊新潮 '06年10月5日号 141頁

# 首相「村山談話」継承

日中首脳「靖国」明言せず  
会談で表明

日中両政府が8日を軸に最終調整している首脳会談に向けた、安倍首相の歴史認識などに関する対処方針が2日、明らかになった。過去の植民地支配や侵略に対する「深い反省と心からの詫言の気持ち」を表明した1995年の村山談話や2005年の終戦記念日に小泉前首相が発表した「小泉談話」の精神を基本的に引き継ぐ考えを表明する。一方で中国側が求めている靖国神社参拝中止の前提については受け入れず、参拝の有無はあいまいなままにする構えだ。

首相は、中国が懸念する

歴史認識問題について、村山談話・小泉談話は、「歴史的な談話であり、政府としての考えを内外に示したものだ」との考えを伝えた上で、双方の努力によって未来志向の日中関係を構築していく必要性を訴える。また、戦後の歩みについて、「先の大戦で国内外に大きな被害を与えたことへの率直な反省に立って、平和的な道を作ってきた」と強調する。

一方、05年4月の日中首脳会談で中国の胡錦濤國家主席が表明した、①日中共同声明などの順守②歴史を

③台湾独立不支援の約束堅持④対話を通じた問題解決⑤幅広い分野の交流・協力⑥幅広い分野の対日関係に関する「5項目の主張」について、首相は前向きに対応していく考えを表明する。

日本の首相による訪中は、実現すれば02年4月の小泉首相以来、約4年半ぶり。日中両政府は首脳会談の内容と日程について、随時協議を進めており、調い次第、正式発表する。

△関連記事2面▽

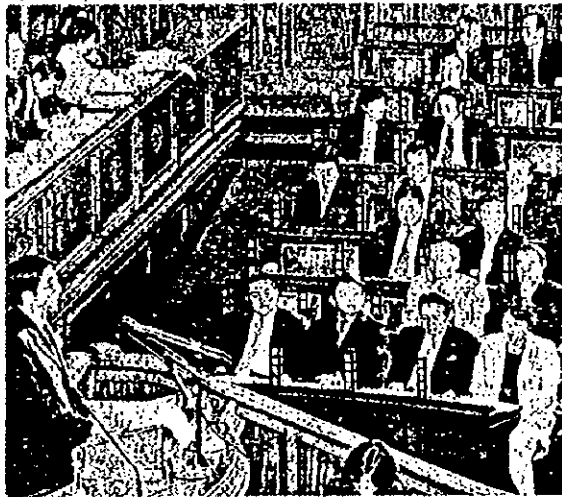
# 「歴史」持論抑える

## 代表質問、無難な船出

### 安倍首相

衆議院議員、安倍首相の所信表明演説に先立ち、代表質問を行った。首相は、自身掲げる「美しい国づくり」について、日本の未来をどうと懸念する多くの国民の期待に応える覚悟を述べ、経済成長を促進し、国力を高めようとした。そして、歴史問題について、政府として慎重な対応を求め、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。

■「理念」を掲げる  
「美しい国」を築く。これが安倍首相の所信表明演説の第一のテーマである。首相は、自身掲げる「美しい国づくり」について、日本の未来をどうと懸念する多くの国民の期待に応える覚悟を述べ、経済成長を促進し、国力を高めようとした。そして、歴史問題について、政府として慎重な対応を求め、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。



首相として初の国会答弁に立った安倍首相。歴史問題に対する答弁では持論を抑えた。2日午後、衆議院本会議場。

が自ら、慎重な対応を求め、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。

で、首相が所信表明演説で「逃げず、逃げ込まず」と述べたことについて、野党からは「必要がある」と考え、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。

野党からは「逃げず、逃げ込まず」と述べたことについて、野党からは「必要がある」と考え、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。

野党からは「逃げず、逃げ込まず」と述べたことについて、野党からは「必要がある」と考え、歴史問題の解決には、平和的な手段による解決が必要であると述べた。

## 代表質問

# 首相は論点をはぐらかすな

安倍首相の所信表明演説に対する代表質問が2日始まった。安倍首相は、戦下における初めての論議の場、歴史的意義を認め、戦中戦後の歴史を踏まえ、戦後70年を前に、戦前にアジアでとった行為がアジア諸国の人々に困難と苦痛を与えたという経緯の内容を紹介するだけにとどまり、自身はどうか考えるのか自分の言葉で語ろうとした。安倍首相は小泉政治の継承を言いが、「はぐらかし」手法まで継承されては困る。

政治的、外交的に意味を持つので歴史的分析については政治家が語ることは謙虚であるべきだ」とすりかえた。

私たちはこれらの問題に対し、あいまいさに逃げ込むなど繰り返して文にきた。これでは「人生いろいろ」発言の小泉前首相と同様、はぐらかし答弁だと責められても仕方ないだろう。

日中、日韓首脳会談が近く再開される見通しとなっている。首相のあいまいな態度で、中国、韓国との真の相互理解が進むのか、懸念せざるを得ない。関係改善に成算があるのかもしれないが、長期的に安定した関係を築くには明確な歴史認識が必要だろう。

消費税引き上げも「抜本的、一体的な税制改革の中で議論する」と繰り返すだけだった。集団的自衛権の行使をめぐる問題や、公務員の天下り規制見直し問題も

しかり。代表質問は再質問が認められるとはいえず、これでは勘子板けした国民も多かったのではなからうか。

民主党も万全なスタートではなかった。この日の鳩山氏らの登壇は、検査入院中の小沢一郎代表に代わったものだ。安倍首相と小沢代表の正面からのぶつかり合いを期待する声も多かっただけに残念だ。来週以降には党首討論も予定されている。小沢代表の一日も早い体調の回復を願いたい。

代表質問のトップに立った民主党政調局長は、冒頭はことだ」と語り、それ以上の言及を避けた。

「良質な中産階級が倒壊し、不条理な格差が拡大しつつある」と指摘。『日本の良さを壊してきている。5年半の政治を反省して換えるべきだ』と迫った。安倍首相の答弁は所信表明の域を出なかったが、参院選に向い民主党政調が格差

問題で対決色を出そうという姿勢は鮮明になった。

またたく物足りなかつたのは首相の歴史的意義を認め、戦中戦後の歴史を踏まえ、戦前にアジアでとった行為がアジア諸国の人々に困難と苦痛を与えたという経緯の内容を紹介するだけにとどまり、自身はどうか考えるのか自分の言葉で語ろうとした。安倍首相は小泉政治の継承を言いが、「はぐらかし」手法まで継承されては困る。

政治的、外交的に意味を持つので歴史的分析については政治家が語ることは謙虚であるべきだ」とすりかえた。

私たちはこれらの問題に対し、あいまいさに逃げ込むなど繰り返して文にきた。これでは「人生いろいろ」発言の小泉前首相と同様、はぐらかし答弁だと責められても仕方ないだろう。

日中、日韓首脳会談が近く再開される見通しとなっている。首相のあいまいな態度で、中国、韓国との真の相互理解が進むのか、懸念せざるを得ない。関係改善に成算があるのかもしれないが、長期的に安定した関係を築くには明確な歴史認識が必要だろう。

消費税引き上げも「抜本的、一体的な税制改革の中で議論する」と繰り返すだけだった。集団的自衛権の行使をめぐる問題や、公務員の天下り規制見直し問題も

しかり。代表質問は再質問が認められるとはいえず、これでは勘子板けした国民も多かったのではなからうか。

民主党も万全なスタートではなかった。この日の鳩山氏らの登壇は、検査入院中の小沢一郎代表に代わったものだ。安倍首相と小沢代表の正面からのぶつかり合いを期待する声も多かっただけに残念だ。来週以降には党首討論も予定されている。小沢代表の一日も早い体調の回復を願いたい。

代表質問のトップに立った民主党政調局長は、冒頭はことだ」と語り、それ以上の言及を避けた。

「良質な中産階級が倒壊し、不条理な格差が拡大しつつある」と指摘。『日本の良さを壊してきている。5年半の政治を反省して換えるべきだ』と迫った。安倍首相の答弁は所信表明の域を出なかったが、参院選に向い民主党政調が格差

問題で対決色を出そうという姿勢は鮮明になった。

またたく物足りなかつたのは首相の歴史的意義を認め、戦中戦後の歴史を踏まえ、戦前にアジアでとった行為がアジア諸国の人々に困難と苦痛を与えたという経緯の内容を紹介するだけにとどまり、自身はどうか考えるのか自分の言葉で語ろうとした。安倍首相は小泉政治の継承を言いが、「はぐらかし」手法まで継承されては困る。

政治的、外交的に意味を持つので歴史的分析については政治家が語ることは謙虚であるべきだ」とすりかえた。

私たちはこれらの問題に対し、あいまいさに逃げ込むなど繰り返して文にきた。これでは「人生いろいろ」発言の小泉前首相と同様、はぐらかし答弁だと責められても仕方ないだろう。

日中、日韓首脳会談が近く再開される見通しとなっている。首相のあいまいな態度で、中国、韓国との真の相互理解が進むのか、懸念せざるを得ない。関係改善に成算があるのかもしれないが、長期的に安定した関係を築くには明確な歴史認識が必要だろう。

消費税引き上げも「抜本的、一体的な税制改革の中で議論する」と繰り返すだけだった。集団的自衛権の行使をめぐる問題や、公務員の天下り規制見直し問題も

しかり。代表質問は再質問が認められるとはいえず、これでは勘子板けした国民も多かったのではなからうか。

民主党も万全なスタートではなかった。この日の鳩山氏らの登壇は、検査入院中の小沢一郎代表に代わったものだ。安倍首相と小沢代表の正面からのぶつかり合いを期待する声も多かっただけに残念だ。来週以降には党首討論も予定されている。小沢代表の一日も早い体調の回復を願いたい。

代表質問のトップに立った民主党政調局長は、冒頭はことだ」と語り、それ以上の言及を避けた。

2006.10.3 毎日(朝) 5面

[illegible]

2006

[illegible]

平江府志

|                                           |                            |                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>安倍閣三首相の靖国神社や歴史的認識について<br/>これまででの発言</p> | <p><b>福田首相</b><br/>参拜</p>  | <p><b>安倍氏の発言</b><br/>参拝の方々の心遣いを祈りし、参拝の意を表する気持ちには共感していた。(4月15日の自民の閣議決定に参拝については外交防衛相、経済閣僚については中においで、参拝したくないかについて申し上りけるものあり。(8月4日、官房長官答弁)</p> |
| <p>小泉首相について</p>                           | <p><b>小泉首相</b><br/>参拝</p>  | <p>(小泉首相一郎参拝の靖国神社参拝は)首相が一般政治家として、また首相である人間小泉首相一郎の立場で、靖国神社に参拝したと書いている。政府として見解を申し上げる立場にない(8月16日、官房長官答弁)</p>                                  |
| <p>前大朝について</p>                            | <p><b>前大朝</b><br/>参拝</p>   | <p>大朝参拝、美空ひばりによって参拝と見られた方々と連名書と大朝館において催行がされて、日本は参拝した、しかし日本において参拝する日本人であるかといえば、それはそうではない(2月14日、衆議予算委員会)</p>                                 |
| <p>戦争指導者について</p>                          | <p><b>戦争指導者</b><br/>参拝</p> | <p>戦争指導者に一重責任があるのも事実だが、誰にどのような、どれくらいの責任があるかなどについては、歴史家が判断すること(8月15日、官房長官答弁)</p>                                                            |
| <p>文相について</p>                             | <p><b>文相</b><br/>参拝</p>    | <p>(中国が戦争指導者と一般の国民を分けて参入して参拝を拒否したという点)文相として参拝してはならない、日本国民を二つの層に分けるということも、やや難解な表現ではないか(9月11日、何任氏参議連日本記者クラブ講演)</p>                           |

※小泉首相一郎参拝のA級戦犯についての発言  
(A級戦犯は)戦争犯罪人と認定され、その命は日本は奪還した。戦争犯罪人であるという認識をしている。(05年8月2日、衆議予算委員会)

2006. 10. 3 每日(朝) 2面

# A級戦犯

## 「戦争責任断定は不適當」

### 安倍首相 歴史認識は踏襲

衆院代表質問

衆院は2日の本会議で、安倍首相の所信表明演説に対する自民、民主両党の代表質問を行い、国会論議がスタートした。首相は第二次大戦のA級戦犯を裁いた東京国際軍事裁判(東京裁判)

について、「裁判を受審しており、異議を述べる立場にない」としたうえで、A級戦犯の戦争責任について、「先の大戦に対する責任の主体についてはさ

けた。民主党政山山紀夫幹事長の質問に答え、(2面にクローズアップ、8面に詳報)また、首相は先の大戦をめぐる歴史認識について、05年の村山(富市)首相談話を引用する形で

の国々、とりわけアジア諸国の人々に対し多大の損害と苦痛を与えた」と語り、過去の政府見解を基本的に踏襲した。小泉純一郎前首相の靖国参拜で途切れた中国、韓国との首脳会談については「実現に向け双方で努力

の参拜に関しては「閣内(明らか)するつもりはない」と、行くか行かないかも含め発言しない立場を改めて示した。首相は総裁選などでも、A級戦犯の戦争責任について「歴史家の判断に任せたい」と発言していた。小泉前首相は在任中「戦争犯罪人という認識をしている」(05年6月2日の衆院予算委員会)と答弁している。

東京裁判をめぐる政府見解は同年10月、政府答弁で「裁判に異議を述べる立場にはない」としている。また、A級戦犯に

ついては、戦争責任の位置改革について非公務員化を検討するなど、次期首相答弁はあえて判断を明示すべきではない、と案を示したものだ。

また、首相は社会保障

た。【宮下正巳】

2006.10.3 毎日(朝) 1面

代表質問

「先の大戦、率直に反省すべき」

首相 常任理入り意欲も

安倍首相は3日の衆院本会議での代表質問で、歴史認識について「先の大戦で国内外に大きな被害を与えたという事実については、率直に反省すべきだと考えている」との見解を示した。

1995年の村山富市首相（当時）の「村山談話」は、過去の植民地支配や戦争に対する「深い反省と心からのおわびの気持ち」を表明した。安倍首相の答弁は、村山談話の精神を基本的に引き継ぐ姿勢を示した。また、首相は、「先の大戦を始めた原因が誰にあったか」といった歴史の分析について、政治家が語ることは謙虚であるべきだ」と述べ、詳しい歴史認識の表明には慎重な考えを重ねて示した。

した。

また、首相は、国連改革に際して「戦後、作られた国連を21世紀にあわせていくため、我が国の常任理事国入りを目指し、国連改革に引き続き取り組む」と述べ、国連安全保障理事会の常任理事国入りに意欲を表明した。憲法改正については「現

行憲法は、60年近くを経て現実とそぐわない。私たちが手で、21世紀にあふさわしい日本の未来の姿、理想を憲法として書き上げること

が必要だ」と語った。

社民党の田嶋義久議員、公明党の太田代表の質問に答えた。

〈関連記事4面〉

# 河野談話「政府として踏襲」

## 政権安定 中韓にも配慮

安倍首相は自らの内閣で、河野談話への日本軍の侵略的役割の認識をめぐって、河野談話について「政府として踏襲」する意向を示している。首相は今国会で、アジア諸国への「河野談話」を踏襲する意向を示す。河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

（河野談話の位置づけ）

首相は、河野談話の位置づけの部分を踏襲する意向を示している。河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

河野談話（東京版）の位置づけについて、河野は「河野談話の是非は、河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。河野が在任中に決まる。」と述べた。

2006.10.4  
産経(朝)1面



# 知事に面会求めもみ合う

従軍慰安婦発言で  
市民グループから

市民団体「県平和資料館を築く会」などは3日、上田県知事が県議会で「従軍慰安婦はなかった」と発言したことに抗議するため、元従軍慰安婦として証言をしている韓国女性李容洙さん(77)と県庁を訪れた。李さんと同会、「教育自治・埼玉ネットワーク」などの市民団体は、上田知事に面会を求めたが、野本能伸特別秘書は「知事は日本政府を通じての要請がないと、一市民と会うことは難しい」との意向を伝え、面会を断っていた。

李さんら十数人が3日、県庁の特別秘書室を訪れたが、「知事と直接会って話したい」と、突然、開会中の県議会棟に向かった。約束がなく知事に会おうとしたため、議場入り口で、県職員らともみ合いになり、上田知事は「じやまするな」と叫んで議場に入った。李さんは会見を開き、「(韓国の年齢で)16歳の時、自宅で寝ていると

軍人に強制連行された。手足を縛られ暴行を受けた。台湾にあった日本海軍の慰安所で何人もの軍人の(性的な)相手をさせられた」と話した。



BN

月曜日

最近の彼の自信作「新しいくちびる」

トップ 主要ニュース 国内 海外 経済 エンターテインメント スポーツ コンピュータ 地域 写真 動画

北海道 東北 関東 信越 北陸 東海 近畿 中国 四国 九州 沖縄

埼玉ニュース - 10月4日(水)11時4分

東京 | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 山梨

## 上田知事の従軍慰安婦発言: 韓国人女性ら撤回を要請 / 埼玉

ウーマノミクスバスケット  
eフロント 9/23が63

- 女性の社会進出を
- 投資チャンスに
- ウーマン+エコノミクス

「『慰安婦はいても従軍慰安婦はいない』と述べた上田清司知事の6月県議会答弁を受け、韓国人の元従軍慰安婦、イ・ヨンスさん(77)と支援者らが3日、県庁を訪れ、発言撤回と謝罪を求める要請書を秘書課に提出した。

記者会見したイさんによると、イさんは1928年、韓国テグ市生まれ。1943年秋、14歳で日本兵に連行され、台湾・新竹市の旧日本軍基地内の慰安所で慰安婦として従事した。92年に慰安婦だったことを証言。今年7月には慰安婦問題を放置したとして、韓国外交通商部(外務省)を相手取り、損害賠償請求訴訟を起こしている。

慰安婦問題に関して知事は、「軍が徴用した従軍慰安婦はいたという証拠はない」との見解を示している。イさんは「私は生きる歴史証人。知事は自分で言ったことに責任を持つべきだ」と話した。

イさんは知事との面会を求めたが、県は「外務省など正式なルートを経ておらず面会にはできない」と事前に拒否していた。この日は、面会を求める支援者らが開会中の県議会議場に入ろうとする知事の前に立ちふさがり、知事が「邪魔するな」と声を荒げる一幕もあった。【高本耕太】

10月4日朝刊

(毎日新聞) - 10月4日11時4分更新

関連トピックス: ① 太平洋戦争 ② 戦後補償問題

### 前後の記事 - [埼玉]

- ・ 理化学研究所: 両陛下が訪問 - 和光 / 埼玉 (毎日新聞) - 11時4分
- ・ 高校野球: 秋季県大会 ベスト8そろそろ / 埼玉 (毎日新聞) - 11時4分
- ・ 上田知事の従軍慰安婦発言: 韓国人女性ら撤回を要請 / 埼玉 (毎日新聞)
- ・ 埼玉私学フェア2006: 大宮展 合格ラインは、進学率は 意欲的に質問 / 埼玉 (毎日新聞) - 3日(火)15時1分
- ・ 川口の園児死傷事故: 教諭と保育士集め、安全対策緊急協議 - 新座署 / 埼玉 (毎日新聞) - 3日(火)15時1分

### トピックス

和歌山談合 大林組を家宅捜索  
文科相、遺書非公表の教委批判  
10万ケタまで円周率暗唱  
赤い車に「×」傷の被害相次ぐ  
夕張の観光施設 買い手を公募  
ルーシーさんら暴行 無期求刑  
2円窃盗で常習スリに5年求刑

一覧

### 写真ニュース



(拡大写真)

サッポロライオン、天神に2業態オープン  
- 九州初出店(天神経済新聞)

一覧

News Watch  
@freshEYE

最新ニュースをメールで受信

- ノーベル賞
- プロ野球プレーオフ
- 秋の新番組

手と不調が出た。たゞ日中共同宣言に村山登喜夫、首相は「二政府の下の『順守』が冀り込まれ  
ツツとしての重み」(宮廷)でいると云ふ影響してい  
る。  
筋筋)に制約される存在  
いるが、首相も今日には  
反転攻勢に出た。

代表質問で野党側は、首相が目指す「美しい国」や憲法改正、教育改革など理念そのもののへ攻撃に力を入れた。格差問題への対応や消費税率の引き上げといった具体的な政策についても追及したが、首相はほとんど同じ答弁を繰り返し、盛り上げに欠けた。

鳩山氏は4日の参院本会議後に「これからもっと厳しく論議していく」と述べ、5日に始まる衆院予算委員会での質疑で引き続き首相のあいまいさを突く考えだ。

首相が答弁席に目を落しながら答える場面が多かったことには、与野党内からも「若々しさが感じられない」（自民議員

「首相は『三政府の下ツ』としての重み、（宮邸）に制約された存在である」とも述べた。

例えば、首相が一議員の時代には批判して来た「アジア諸国の人々に対して多大な損害と苦痛を与えた」とする「村山懸断」を、政府として踏襲する考えを示したのは、平成10年に、当時の江沢民中国国家主席と小淵恵三首相の間で確認された「日中共同宣言に村山談話」と不調が出た。たゞ、首相は「三政府の下ツ」としての重み、（宮邸）に制約された存在である」とも述べた。

例えは、首相が一議員の時代には批判して来た「アジア諸国の人々に対して多大な損害と苦痛を与えた」とする「村山懸断」を、政府として踏襲する考えを示したのは、平成10年に、当時の江沢民中国国家主席と小淵恵三首相の間で確認された「日中共同宣言に村山談話」と不調が出た。たゞ、首相は「三政府の下ツ」としての重み、（宮邸）に制約された存在である」とも述べた。

代裏質問の答弁で、首相が外交文書の内容を一方的に覆すことは国際儀礼に反する。「過去の負の遺産」（首相周辺に）を、政府として踏襲する考えを示したのは、平成10年に、当時の江沢民中国国家主席と小淵恵三首相の間で確認された「日中共同宣言に村山談話」と不調が出た。たゞ、首相は「三政府の下ツ」としての重み、（宮邸）に制約された存在である」とも述べた。

「そうし苦しい姿に、自民党内では『変人』と呼ばれた小泉純一郎前首相と比較するのはかわ

いそうだ（国対幹部）といった同情論まで出てくるが、首相も4日には反転攻撃に出た。

民主党政の農業は年金給付水準や米増産の取り扱い、財源に充てる消費税を含む財源の確保方策など、農業王に逼っている。参院本会議での民主党政の平田健二氏の年金に関する質問への答弁には、首相本来の強氣な姿が表れている。

|          | 野党                                               | 首相                                       |
|----------|--------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 憲法       | 憲法を覆え、世界の戦場で自衛隊が戦争できる国造りを行うのか (社民党・福島隆雄党首)       | 私たち自身の手で日本の未来の姿、理想を憲法として新しく磨き上げていくことが必要だ |
| 格差       | 景気回復のための諸施策が格差拡大を招いている (民主党・伊藤雄基参院議員)            | 再チャレンジ政策の推進などで正規、非正規労働者間の格差均等を図る         |
| 教育       | 公立学校を競争させて淘汰(とうた)するのは義務教育にふさわしくない (民進党・市田忠義書記局長) | 公教育の再生を図る。教員への外部評価を導入、実績に応じた給与体系を検討する    |
| 消費税率引き上げ | 来年の参院選後まで議論せずに逃げるのでは (民主党・松本剛明政調会長)              | 抜本的、一体的な税制改革の中で議論を行う必要がある。具体的な議論は来年秋以降に  |
| 歴史認識     | 戦争認識を語らず、「歴史家に乗る」と逃げたい (民主党・鳩山由紀夫幹事長)            | 特定の歴史観について政治家が語ることに謙虚であるべきだ              |

2006. 10. 5  
読売新聞

|                                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>従軍慰安婦問題<br/>河野談話を踏襲</p>                                                                                                                                            | <p>首相</p> | <p>安倍首相は4日の参院本会議で、1993年に河野洋平官房長官が発表した従軍慰安婦に関する談話について、「いわゆる従軍慰安婦の問題についての政府の基本的立場は、談話を受け継いでいる」と述べ、「河野談話」の見解を踏襲する</p> |
| <p>考えを示した。社民党の堀島賢吾の質問に答えた。河野談話は、旧日本軍兵士を相手とする慰安婦の募集、移送、管理に、旧日本軍などの関与と強制性があったことを認めた内容だ。安倍氏は97年に国会で質問に立った際には「強制性を検証する文書が出ていないことは明らかで、前提がかなり崩れてきている」と談話に否定的な見解を示していた。</p> |           |                                                                                                                    |

安倍首相

自身も「村山談話」継承

岸元首相の戦争責任認める

安倍首相は五日午、従軍慰安婦に関する一九九〇と「侵略」を認めた九五年後の衆議予算委員会、九三年の「河野官房長官の「村山首相談話」について、旧日本軍の関与を認めた「談話」と、植民地支配について、首相個人としても

継承する考えを明らかにした。また、先の大戦をめぐり、祖父の岸信介元首相を含む当時の指導者の戦争責任も認めた。

関連の経緯⑥面

首相は二つの談話について、衆参両院本会議での各党代表質問に対する答弁で、政府として踏襲する考えを明らかにしていたが、この日は「私も政府の首相なので当然（同じ考え）だ」などと、踏み込んで発言した。

さらに、首相は「村山談話」に関連し「先の大戦でアジアの国々に対し、大変な被害を与えたのは厳然たる事実。中

国、韓国の方々は、侵略をされ植民地支配にあったと、八、九日に歴訪

予定の中国、韓国の国名を挙げた。

また首相は、東条内閣の商工相だった岸元首相が、太平洋戦争開戦に踏み切る詔書に署名したことに関連し、「その時に指導者の立場にあった人は、私の祖父を含め大きな責任があった。政治は結果責任だから、当然その時の判断は間違っていたということではないか」と述べた。

安倍首相は二日の衆院本会議で、極東軍事裁判（東京裁判）でA級戦犯として裁かれた国家指導者の責任について「政府として具体的に断定することは適当でない」としていた。

岸元首相は、A級戦犯容疑で拘束されたが、起訴は免れた。

このほか、安倍氏は日米同盟の「双務性強化」について、日米相互の信頼関係強化が目的だと説明した上で、「集団的自衛権を直ちに行使できるようにしろ」ということではない」と述べた。

## 安倍首相

政府見解踏襲また一歩

村山河野談話 個人としても容認

昭和十三年三月の支那軍事實況を論ずる『歴史的考察』に於て、従来の政府見解を踏襲するが、河上は「支那の革命軍」と云ふ點に入らず。過去の戦争を回顧した一〇〇〇年の村山談話と、93年の従軍航空隊問題に関する近野談話を個人としても認めたと。中国、韓国訪問を恒例に控へ、首相の親征の希望が続いている。

△衆院予算委の主な質疑▽面▽

民主黨の代表者は、  
「野郎の質問を回答せよ、  
議題に觸れず、執拗にた  
だした。」

引き續く意圖を示していた  
が、舊氏が自ら相個人も同  
じ足踏がなされたといれる  
と、「首抱たから當然だ」と  
心した。首相がこれまで

村山首相談話について、  
首相はすでに自らの政権で  
極力口にしていなかった中  
韓両国に対する侵略と強民

「祖父も含め  
開戦に責任」  
安倍首相は、自らの義父子  
重光葵会長の、1941年の  
対米英開戦時に閣僚を務  
め、A級戦犯容疑者（不起  
訴）だった祖父の陸元首相  
をめぐり、開戦に責任を  
負うべきと、閣議で決まら  
れたと述べた。

安倍首相は閣議で、開戦  
責任を閣内閣外に問うた  
際、重光葵首相の閣議に際し  
た、首相も含めた閣内閣  
外だった。閣議説明につ  
いての字句の誤りなど、安  
倍氏は首相にならぬ責任

たがって、「開戦の結果、  
多くの日本人が命を失っ  
た。アジアに大きな苦しみ  
を残した。指導者の立場に  
あった人たちは祖父も含め  
大きな責任があった。（開  
戦の）判断は間違っていた  
ということではないか」と  
述べた。

安倍首相は開戦を繰り返さ  
ないことを誓った。安倍は  
閣議で、開戦責任を問うた  
際、重光葵首相の閣議に際  
した、首相も含めた閣内閣  
外だった。閣議説明につ  
いての字句の誤りなど、安  
倍氏は首相にならぬ責任

[illegible][illegible]

歴史認識に関する安倍首相の過去の発言と首相就任後の発言

|           |                                                                                |                                                        |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
|           | 首相就任以前                                                                         | → 5日の衆院予算委員会での発言                                       |
| 村山首相談話    | 「いわゆる侵略戦争をどう定議づけるか」という問題は、歴も当然ある。またとはっきりと確定しているとはいえない状況ではないか（06年2月16日の衆院予算委員会） | → 「韓国、中国の方々は侵略された。植民地支配に苦しめられていた。それはまさに示した通りだと私は考えている」 |
| 岡野自民党最高談話 | 「総裁が既に解れているにもかかわらず、自衛隊に官憲隊は生き残っている」とは大変大きな問題だ（97年5月27日の衆院決算委員会2分科会）            | → 「私を含め政府として受け継いでいる。私の内閣で変革するものではない」                   |
| A級戦犯      | 「戦勝国によって覆かれた。責任を敢たされた」ということはなかった（06年2月16日の衆院予算委員会）                             | → 「指導者の立場にあった人たちは、私の祖父も含めた大きな責任があったと思う」                |

○ 8月15日に村山喜相が発表した。過去の植民地支配と侵略により、多くの国々の人々に多大の損害と苦痛を与えたという。この種々の反省と「心づかい」のおわびを表明した。河野敏経は宮内閣出陣の93年8月、河野平吉府長官が死した從軍車禍に及ぶるもの。從軍慰安婦の事業、移殖、管理に日本軍などの関与と強制性があったことを認めた。

2006.10.6 JAPAN TIMES

## Blame Kishi, others for the war: Abe

. Kyodo News

Ahead of his fence-mending visits to China and South Korea on Sunday and Monday, Prime Minister Shinzo Abe acknowledged Thursday that his grandfather, the late Prime Minister Nobusuke Kishi, and other early and mid-20th century leaders bore a grave responsibility for the war Japan waged.

Abe, known for his conservative views on history, also accepted earlier government apologies for Japan's colonial rule and wartime aggression, acknowledging the Imperial

Japanese Army forced women to serve soldiers as sex slaves.

Abe, who took office on Sept. 26, clarified his views on Japan's militarist past during a House of Representatives Budget Committee session Thursday before his summits with Chinese President Hu Jintao and with South Korean President Roh Moo Hym.

When asked about his views in Monday's Lower House plenary session, Abe declined to say if those charged as Class-A war criminal in the Tokyo Tribunal should have been held responsible for the war.

安倍晋三首相は5日の衆院予算委員会で、歴史認識をめぐる民主党の菅直人代表代行と論争を展開した。その中で、首相は祖父の岸信介元首相が日米開戦時の海軍相として開戦詔書に署名したことについて「そのときの判断は間違っていた」と明言した。一方、首相が菅氏のことを「デマゴーク（扇動家）」だと切り返す場面もあった。安倍首相と菅氏の主なやりとりは次の通り。

## 衆院予算委 首相VS菅氏

# 歴史認識めぐり応酬

菅氏 従軍慰安婦への日本軍の強制関与を認めた河野談話を受け継ぐのか。

首相 河野談話は政府として出され、現在の政府でも受け継がれている。私を含め政府として受け継いでいる。

菅氏 以前は談話の前提が崩れたと言っていた。首相 いわゆる「従軍慰安婦」といわれた方々から事情を聴いたときの状況が当初報道されていた内容と違ふと疑問を持ったが、談話で政府としての姿勢を示した。私の内閣で変更はし

ない。

菅氏 「村山談話」の内容は首相の考え方と同じか。

首相 談話は閣議決定され、内外に対し政府の考え方を述べたものだ。新たな談話を作って刷新する考えはない。大変な被害を与えた反省に立ち日本は自由で民主的な平和に貢献する国をつくってきた。

菅氏 祖父の岸信介元首相が日米開戦時、大臣として開戦詔書に署名したことへの評価は。

菅氏 歴史の認識や分析を政治家がいちいち神のごとく判断するのは間違っている。政治家の言葉は政治的な意味を持ち、外交的な問題を生ずることもある。歴史家に任せるべきだ。

菅氏 首相が、中国との間で政経分離の原則を作る必要があると考える理由は何か。

首相 自由と民主主義をいう基盤では、選挙によって成立している政府がどうかとの違いがある。

菅氏 政経一致でいいのか。

菅氏 なぜ中国とは政治は冷たくていい、経済だけは温かいといいと考えるのか。

首相 私は本で経済は良くて政治は冷たくていいと一言も書いていない。まるでそう書いてあったかのうと信ずるのはデマゴーク（扇動家）といわれても仕方ない。おかしい。

日米開戦「祖父の判断は間違い」  
詔書署名

2006.10.6 産経(朝) 5面

衆院予算委（詳報）

10106 聚羧酸系、無機質改質系の  
片状ガラス、USP 5550 標準。

◆ 歷史認識

菅原人民の要求で、從軍慰勞船に上つて河野洋平宮岡俊吉(三現)談話を受け續いでいると宮つた。談話などいろいろ中絶でとうとう一面で受け續いだのか。

驚いたとき、このやうに  
首棺個人も考へるか。

苜栢 先の大戦によつて多くの日本人は陸軍の苦しみなかにあった。そしてアジアの国々に大変な被害を与へ、飢を与へたのは、然然たる事実

るのではないが。首相 義務教育段階の教科書のあり方について議論してきた。事実認定でいろんな議論があるのを載せるのはどうかと。申しあげてまだ十分に聞いではない。

安倍晋三首相、いわゆる従軍慰安婦問題について述べた談話だ。宮房長官談話は政府として出され、現在の政府にも受け継がれている。

だ。その反省に立って、自由で民主的な平和に貢献する国を造った。そのことを誇りに思っている。韓国、中国をはじめ、侵略された方、植民地支

◆靖国問題  
菅氏 4月に靖国参拝したとの報道は事実か。  
首相 行ったが行かないは外交問題化するのな

西氏 首相が97年5月27日の国会演説で「宮房長官談話はその前提が崩れているから、変えるべきだ」と主張したが、考え方を変えたのか。

菅氏 首相の祖父の摩  
借介元首相が、日米開戦  
の詔書に東条内閣の商工  
が国が閣議決定した談話  
として示した通りだ。

ら、あえて言うべきではないと判断した。

舊氏 靖国神社の遊就館で「ルースベルトの世界戦略」という項目があり、開戦によって米国の

首相 いわゆる從軍慰安婦と云われた方々から事情を聞いた時の状況、当時の石原信雄官房副長官の話を聞いた結果、当

相として鑑名したことをどう評価するか。

首相 その時の判断だったと思うが大きな責任を感じていたと思う。そ

濟は完全に復興したとの一文がある。どう思ふか。舊相・歴史に対する説はいろいろあり、私がいちいち政府として答える

遊就館展示「どう思うか」菅氏

「歴史の説、いろいろある」首相

初、報道された中身とは違ふんじゃないかと疑問を持った。しかし、政府としてこの宮房長官談話を出し、内外に対して姿勢を示した。私の内閣で変更するものではない。

の責任を果たす道はいろ  
 いろあったが、祖父は日  
 本の再建に命がけて取り  
 組む判断をした。開戦で  
 多くの日本人は命を失  
 い、家族を失った。アジ  
 アの人たちに大きなつめ

のなほ遺憾はなほある。

◆日中關係

蔣氏 日中關係について「政經分離の原則をつくる必要がある」と言っているがなぜか。

苗相 互いに切っても

菅氏 戦後50年の終戦記念日にあたって当時の村山富市首相が談話を生じた。(談話内容は)首相の考えと考えていいか。

首相 この談話は閣議

跡を残した。指導者は私の祖父も含め責任があったと思う。政治は結果責任だから、祖父の判断は間違っていたということではないか。だからこそ

切れない関係の中で経済を成長させている。政治目的を達成するため、経済に影響力を行使するのはなるべくやめようというのは当然だ。

決定され、内外に対して政府としての考えを述べたもので、新たな談話を作って刷新する考えは持っていない。私の内閣においても生きている。

命をかけて安保条約改定に取り組んだのだろう。

舊氏 「満州国」についてどう思うか。

首相 歴史認識や分析について、政治家がいち

舊氏 初めから「政治は冷たくて、経済が温かければいい」との考え方はおかしい。

首相 私の本をよく読んでいたみたい。そん

舊氏 村山談話は、植民地支配と侵略によつて多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に、多大な損害と苦痛を与えたと言つてゐる。國策を

いち神のごとく判断するのは間違っている。

葛氏 歴史教科書について「偽歴史観」と断っていた。批判を恐れて自らの持論を押し殺して

なごとは一言も書いていない。経済と政治は車の両輪でしっかり前進させたい。そういう考えをもとに日中首脳会談になつた。

安倍首相

# 岸元首相の責任認める

衆院予算委 開戦詔書署名「間違い」

安倍首相は5日の衆院予算委員会の基本的質疑で、先の大戦の開戦決断をめぐり、祖父の岸元首相も含めた指導者の責任を認めた。また、戦争・植民地支配を謝罪している」と述べ、首相

個人としても継承する見解を明確にした。民主党の菅直人代表代行の質問に答えた。今面に詳報。首相は岸元首相が東条内閣の商工相時代(41年)に日米開戦詔書に署名したことについて「開戦で多くの日本人は命を失い、家族を失った。アジアの人たちに大きなつめ跡を残した。指導者は、私の祖父も含め、責任があつたと思う」と指摘。政治の結果責任だから、祖父の判断は間違っていない」と述べ、さきの大戦につ

たと述べ、岸氏ら戦争指導者の責任を認めた。その上で「責任の取り方はいろいろあつた。だが、命をかけて日米安保条約改定に取り組んだのだからとも述べた。首相は2日の代表質問で、A級戦犯の戦争責任について「具体的に断定することは適当でない」と答弁していた。岸氏は戦前、満州国の経営に關与し開戦時には商工相。戦後はA級戦犯の容疑者となつた。また、さきの大戦につ

いて「村山談話」にある「国策を誤り」の表現を菅氏が指摘し「個人としても(そう)考えているか」とたまたしたのに対し、菅氏は首相に対し、首相は「侵略、植民地支配された方々には誠話で示した通りだ」と答へ、「河野談話」とともに「私の内閣で変更するものではない」と述べ、両談話を維持する考えを明確にした。8、9日に日中、日韓両首脳会談が控えていることもあり、外交的配慮を優先したとみられる。【中澤雄大】

強制性」に疑問があつたが、その後「広義の強制性」に議論が変わつた」と苦しい答弁をした。菅氏は村山談話、祖父・岸元首相の戦争に關する責任と、立て続けに首相の歴史観をたたき、首相はその態度のみ込んだ答弁を迫られた。だが、テーマが靖国問題に移ると、首相は外交問題化を理由に「行ったか行かなかったか言うべきではない」と従来答弁を守り通した。対中関係について菅氏が、首相の近著にある「政経分離」原則を取り上げ「政治は冷たくて、経済が温かい方がいいという考え方」と指摘すると、首相は突然「政治が冷たくてもいい」と首を振らげた。質疑を終えた首相は「現在の問題や未来の問題について、もう少し語り合うべきではないでしょうか」と、ぶせんとした表情で記者団に語つた。【須藤孝一】

## 主 歴史認識で揺さぶり

民 中韓訪問控え 首相の答弁守勢に

5日にスタートした衆院予算委員会で、野党のトップを切った民主党政権代表代行は、歴史認識や靖国神社参拝に求

5日にスタートした衆院予算委員会。野党のトップを切った民主党政権代表代行は、歴史認識や靖国神社参拝に求

「首相になる前は厳切にしている」と挑発したのだ。中国、韓国歴訪を控えている菅首相は、首相の歴史観をめぐり、菅氏は首相に対し、首相は「侵略、植民地支配された方々には誠話で示した通りだ」と答へ、「河野談話」とともに「私の内閣で変更するものではない」と述べ、両談話を維持する考えを明確にした。8、9日に日中、日韓両首脳会談が控えていることもあり、外交的配慮を優先したとみられる。【中澤雄大】

が変化していると切り込んだ。首相が中韓両国への配慮から、自らの歴史観と一致しない政府見解を政治的妥協で受け入れている、との論法だ。河野談話については「(歴史認識の)強制性を模範する文書が出てきていない」ことを挙げ談話の前提が成り立たない」とした首相の過去の国会質問を取り上げ追及。首相は「当時は『狭義の





の質問する菅直人民主党代表代行の答える安倍首相。11月午後、国会内で、松本敏之撮影

**村山談話**

**私の内閣でも生きている  
——「私」はどう思っているのか  
私も総理大臣であり、当然だ**

**歴史認識をめぐるやりとり 要旨**

1面 参照

歴史認識をめぐる安倍首相と民主党の菅直人代表代行の主なやりとりは次の通り。

【河野官房長官談話】菅氏 河野談話をどういう趣旨で受け継ぐか。

首相 いわゆる従軍慰安婦の募集などに国の関与などについての言及がある。現在の政府としても受け継がれている。

菅氏 首相自身が受け継いだのか。

首相 私は内閣総理大臣ですから、私を含めて政府として受け継いでいる。

菅氏 07年6月の国会質疑で「談話の前提がかなり崩れている」と発言した。菅氏、私の内閣でも生きている。

首相 具体的に狭義の強制性が果たしてあったかどうかの確証について、いろいろの疑問点がある。中し上げた。しかし、直接の強制ではなくても、広義の意味でそういう状況に追い込まれていたのではないかとの議論もあったのは確かだ。

【村山首相談話】菅氏 村山談話の内容についての考え方は安倍首相の考え方が。

首相 新たな談話を作った。それを刷新するといふ考えは私は持っていない。閣議決定したこの文書は、私の内閣でも生きている。

菅氏 「私」はどう思っているのか。

首相 私も総理大臣であり、当然だ。

菅氏 植民地支配と侵略でアジアの国に多大な損害と苦痛を与え、国策も誤ったと明記している。個人としてもこう考えているのか。

首相 韓国の方々は、いはい中国の方々を始め、侵略をされた、あるいは植民地支配にあったと（いう認識）。それはまさに我が国がその時に閣議決定した談話として、国として示した通りである。私は考えている。

【戦争指導者の責任】菅氏 祖父の岸信介元首相が、日米開戦の昭々たる責任は問われていたという認識か。

首相 日本は敗戦し、また結果としてアジアの人たちに多くの犠牲を残した。その時に指導者の立場にあった人たちは、私の祖父も含めて大きな責任があった。

菅氏 開戦指導者に署名したのは、今考えてみると間違っていたとの認識だと理解しているか。

首相 政治は結果責任であるから、当然その時の判断は間違っていた。その責任の取り方は色々あった。だからこそ命をかけて（日米）安保条約の改定に取り組んだのだと思う。

初の本格的な論戦の場となった衆議予算委員会で、安倍晋三首相は「封印」してきた歴史認識を語り始めた。タカ派色を脱ぎ、政府見解を踏襲した「安倍史観」が示された。逆戻りは許されない。

## 安倍史観

日本の「植民地支配と侵略」を認めた「村山談話」などは政治家個人としても継承する。極東軍事裁判（東京裁判）でA級戦犯として裁かれた国家指導者に戦争責任はあるが、戦争犯罪人ではない。二日間の論戦を通じて浮かび上がった首相の歴史観だ。

## 逆戻りは許されない

首相は先の代表演説では「村山談話」と、旧日本軍の関与を認めた従軍慰安婦に関する「河野官房長官談話」について、「政府の立場」として踏襲する考えを示してきた。五日の衆議予算委員会初めて、「私も政府の首相なので当然、同じ考えだ」と述べ、個人としても受け継ぐ考えを明らかにした。

首相は先の代表演説では「村山談話」と、旧日本軍の関与を認めた従軍慰安婦に関する「河野官房長官談話」について、「政府の立場」として踏襲する考えを示してきた。五日の衆議予算委員会初めて、「私も政府の首相なので当然、同じ考えだ」と述べ、個人としても受け継ぐ考えを明らかにした。

国会で「村山談話」に関して「侵略戦争の定義は学問的に確定しているとは思えない」と述べていた。慰安婦問題でも「河野談話の前提が崩れている」と、かつて訴えていた。首相の立場を覆し「持論」を変えたといっている。

予算委では、祖父の原爆生存者首相が東条内閣の商工相として、太平洋戦争開戦に踏み切る詔勅に署名したことに関して、その時に指導者の立場にあった人は、私の祖父も含め大きな責任があった。その時の判断は間違っていた」と述べ、淡々ながら祖父の戦争責任を認めた。

首相が歴史観を語り始めたのは週末に訪問する中韓両国への配慮や、タカ派イメージを薄めたい思惑がある。首相は歴史観を語り始めたのは週末に訪問する中韓両国への配慮や、タカ派イメージを薄めたい思惑がある。

つたにせよ、一歩前進だ。

首相の国会答弁は政府の公式見解になる。今後の政権運営や政策づくりを縛るものだ。首相の歴史観は外交・安保政策にとどまらず、教育改革などにも影響する。自ら発言を覆したり、逸脱すれば、政権の致命傷となることを覚悟しておくべきだ。

民主党は官直人代表代行、無所属の田中真紀子元外相、岡田克也元代表ら「エース級」を賛同に立て、首相の歴史認識をたた

だした。久しぶりにおもしろい国会

論戦だった。

首相は歴史観に賛同が集中したことに「やはり現在の問題や未来の問題について、もう少し語り合うべきではないか」と不満を漏らした。だが、「現在」と「未来」を考えるには、まず「過去」を整理することが始めるのは当然である。

連休明けに衆議予算委員会、十八日には党首討論も行われる方向だ。再び活発な議論を期待したい。

2006.10.7 東京 5面

## 慰安婦での言動誤り

志位 和夫氏

(共産)

【従軍慰安婦問題】

志位氏 首相は(旧日

本軍の強制を認めた)一

九九三年の河野洋平官房

長官談話を受け継ぐと言

う一方、以前は「強制性」

を検証する文書は出てき

ていないと述べた。言動

の誤りを改めるべきだ。

首相 事実について、

狭義の意味での強制性が

あったかなかったかとい

うことは重要だ。今に至

っても、狭義の強制性に

ついては事実を裏付ける

ものは出てきていない。

志位氏 河野談話で

は、本人たちの意思に反

して集められた事例が数

多くある。強制そのもの

だ。これを否定するのか。

首相 家に乗り込んで

強引に連れて行ったのか

(というのが狭義で)、

自分としては行きたくな  
いが、結果としてそうな  
ったというのが広義の強  
制性ではないかと考えて  
いる。

2006.10.7 東京 8面

米下院外交委員会のハイド議員は、同委員会に付託されていた決議案「H・R・E・S・七五九」の採択をこのほど見送り、同決議案は廃案となることになった。

#### 慰安婦問題の決議案

その決議案というのは、俗に「従軍慰安婦問題」に関する決議案と呼ばれるもので、外交委員会のスミス副委員長とエバンズ議員（民主党・イリノイ州選出）が今年四月に提出したものだ。

エバンズ議員は戦争補償や軍人・軍属の権利保護に熱心なことで知られ、当然のことながら日本をめぐる歴史問題では激しい見方をする。そのため、中国、韓国の反日政治団体が最大のロビー対象としている議員で、この決議案も中国と韓国が

大 部 の

## 国際通信



同議員に働きかけて提案させたものにほかならない。

決議案は拘束力を持つものではないが、日本政府に対して、次のようなことを求めるものだった。一、慰安婦に公式に謝罪する。二、慰安婦は人道に対する犯罪行為であることを若い世代に教育する。三、慰安婦は存

ウスの働きかけもあって延期されていた。

しかし、安倍政権の誕生と共に再び採択の動きが出てきていた。というのも、先週このコラムで伝えたように、米マスコミが安倍首相について「タカ派」「ナショナリスト」などと相対に極地の悪い報道をしたの

が対中韓関係改善に前向きな姿勢を示しているのを踏まえたものと説明している。

#### 日米関係にも好影響

もし、この決議案が採択されれば、拘束力がないとはいえ何かにつけて引用され、安倍政権の立場は相対的に悪化する。

## 首相中韓歴訪の効用

在しなかったという言葉を公式に否定する。四、慰安婦問題解決に関する関連と国際アムネスティの勧告に従う。

決議案は、靖国参拝にこだわった小泉前首相を標的にしたこととは間違いないが、前首相が最後

に訪米した六月にも採択されると言われていたが、ホワイトハウスの見送りの理由として「安倍首相

に影響されて、米議会の中に安倍的な対する警戒感が高まっていたからだ。

その警戒感を解消させたのは、安倍首相の中・韓両国首脳との会談が素早くセツトされたことだ。

さらに、その時を境として北朝鮮が発表した「核実験宣言」も、安倍政権にとっては「追い風」になったのは間違いない。

こうした変化は、米国の知日派を力づけることにもなるだろう。ブッシュ政権の対日政策の基礎を築いたアーミテージ前副委員長は、今年中にも安倍政権下での日米関係について具体的な政策を勧告する「第二次アーミテージ報告」を発表すると言われるが、安倍政権に対する米政界の評価を背景に、日米関係をさらに緊密化させる動き込んだ勧告になると言われる。

（木村太郎、ジャーナリスト）

# 首相、政府見解を踏襲

あす訪中国 国会答弁では持論も

安倍首相は8、9両日の中国韓国歴訪で、過去の歴史認識をめぐる従来の政府見解の継承を表明し、中韓両国の理解を得たい考えだ。中国も靖国問題で首相の参拝自粛を強く求めない方針だが、首相は6日までの国会答弁でA級戦犯を「犯罪人ではない」と明言するなど、「保守派」的な持論を完全に封印したわけではない。率直に「反省」

とおわび」を語った小泉純一郎首相との違いも生じており、歴史認識問題はなお中韓両国との信頼構築に微妙な影を落としてゐる。安倍首相「A級、B級（戦犯）の方々は犯罪者と呼ばなければいけないわけではない」という考え方を示した。小泉前首相とは全く違う考え方を示したと分かった。日本国首相としておわびを表明した。し

かしその後も毎年参拝を続け、「他国が干渉すべきではない」など感情的な批判の応酬で中韓との関係が完全にこじれた。外務省幹部は「中国からみれば小泉さんの歴史認識は全く問題ない。靖国参拝さえなければ……」と残念がる。安倍首相は従来「次の首相もその次の首相もお参りしてほしい」と小泉前首相の参拝を全面的に支持してきたが、参拝するかどうかをあいまに参院本会議では95年の村山富市首相談話、05年の小泉首相談話を引用する形で「植民地支配と侵略」

■安倍首相と小泉前首相の歴史認識■

| 安倍首相                                           | 小泉前首相                                                    |
|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 「歴史の評価は歴史家の仕事。政治家が歴史を断ずるべきだ」として山談話では政府と受け継いでいる | 「絶対してはいけない戦争」「歴史の事実を謙虚に受け止め、痛切な反省と心からのおわび」               |
| 「日本の国内において、国内法においては犯罪人ではない」                    | 「戦争犯罪人と認識している」                                           |
| 「ご冥福をお祈りし、気持ちは統一して行きたい」「行つてはならない」「行つてはならない」    | 「不戦の誓い、心ならずも戦場で倒れた人々への敬意と感謝の気持ちから参拝」「A級戦犯のために行っているのではない」 |

ただ、政府見解と矛盾しない範囲なら持論も隠さない。東京裁判を受諾したサンフランシスコ講和条約と、A級戦犯の規定が存在しない国内法を使い分け、「国内法的には戦争犯罪人ではない」と主張。日本の戦争責任を「戦争指導者」と「一般国民」に分けて論じる中国の主張も「日本側は同意していない」と否定する。村山談話についても「受け継いでいる」としながら、談話に盛り込まれた「反省とおわび」への言及は避けている。

持論と政府見解のバランスを微妙にとりながら首脳会談に臨む構えだ。

【平田宗浩】

首相、個人でも踏襲

るゐるあつた。だからこ  
そ、（祖父は）命をかけ  
て安保条約の改定に取り  
組んだのだろ」と述べ  
た。

明確にした。

さらに、97年6月の国会質問で「談話の前提がかなり崩れてきている」と発言したこととの整合性について「(軍当局が

直接強要ものだといふ。狭  
義の強制性があつたかど  
ろかの確証について、い  
ふところは疑問点があるの  
ではないかと申し上げ  
たと説明した。

また、首相の祖父・岸  
 信介元首相が41年、当時  
 の東条内閣の商工相とし  
 て閣議録上に署名したこ  
 との評価を問われ、一敗  
 戦し、また結果としてア

「シヤの人たちに多くのつめ跡を残した。その時に指導者の立場にあった人たちは、私の祖父も含めて大きな責任があった」

の記載内容を「自虐史観」と批判していた点について、「義務教育段階の教科書のあり方についての議論。子供の発達段階において、どうかと申し上げてきた。別に間違つてはいなかった」と強調した。（坂尻類吾）

## 北朝鮮の核

米國が、ついに大橋の02年、北朝鮮へ、遂て制裁を加へた。制裁の内容が、サウナ、ビールを、一服の取馳、と云う。軍事的な衝突となつたが、いかなる場合、危しして、向來、堅を鐵し、北朝鮮に、修平、は、既成するゐた。これに對して、米國の放棄を迫つた。かなかな、軍中に、知、は、安原、訓、強、は、軍事行動の可能性、に、自認、しない、案、だつた。く、中、も、入、れて、お、きた、い、と、云、た、ら、う、だ、ろ、う、。

然、る、に、中、内、は、も、強、硬、な、戦、役、を、務、め、る、。日、本、を、通、じ、め、國、際、社、會、に、こ、こ、へ、軍、事、的、な、交、渉、を、通、じ、北、韓、の、修、平、を、力、の、行、使、と、北、韓、の、選、持、は、な、ん、と、い、ふ、や、め、さ、す、と、融、合、を、も、つ、て、さ、た、。中、國、に、對、し、て、も、選、持、は、な、い、け、な、ら、な、い、。中、國、に、對、し、て、

[illegible]

## 二、一、安倍

自前に引合されて半月がたち、いよいよはじまりました。相國人事に始まる所、なぜひかと思へば、首相に反安までの安んずるの行動が、私たちの海軍の方とあつてに隔たつてゐると思つたからです。歴史的経緯と外交、教育、安全保障など國の根本にかかわることばかりでしたが、ちよきまじな、真正面から論戦を挑まざるを得ない。その點は覚悟を固めていました。――

對子に約談を申し申します。

國政を用ひし上の責任が、あなたにかゝる。――

から、よむとそんな性質が、戦術を取るとは思ふません。討論を控えた理由も、國民にきつと説明してはいかがでしよう。安倍さんに、要を述べたで結構だちも聞きたりではないでしょうか。

正しさを指摘め、約談する。そのこと、決して恥すべきことではないのです。



安倍晋三首相が村山談話の踏襲など歴史認識を軌道修正したことについて、先週の本欄で「首相の姿勢を評価する」と書いた。最初は「首相の立派な姿勢」とか、もっと皮肉った見出しを考えたが、首相も国を思っている持論を抑え、日本国憲法を再明させたのだ。率直に評価すべきだと思っただけだ。こんな話を改めて聞いたのは、12月1日の朝日新聞社説「君子豹変ですが」を読んだからだ。『印務 安倍晋三さま』が始まるこの社説も首相の豹変は「天いに歓迎すべきこと」という。だが、続きはこう。

『これじゃ朝日新聞の主張と変わらないよ。旧来の安倍さんに期待した人たちは不満も聞かなくてさうぞう』

ここに、朝日のおどり

### 本当は悔しい？朝日新聞



与良 正男

を感じないわけにはいかない。政権発足前から、タカ派首相の意うさど不安」を最も書き続けてきた新聞は朝日だ。当時私は、まだ何もしていないうちから、ここまで騒ぎ立てるのはフェアでないと思っていたが、修正すると今度は嫌みのオンパレードである。

いくらNHKの番組「改変問題をはじめ首相と対立してきたとはいえず、私にはどうだ、朝日の歴史認識の正しさが分かったろう。さまを罵る」と言っているようにしか聞こえない。

ここからは邪推。本当は朝日は首相の軌道修正が悔しかったのではあるまいか。もっとイケイケ・ドンドンの安倍首相らしさを示してもらった方が批判がしやすいのに……そんな思いが行間にはじみ出ている気がするがどうだろう。

メディアは機嫌で素直でありたいと私はいつも思っている。(論説室)

2006. 10/6 毎日(朝) 2面

[聯合ニュース 2006-10-16 14:23]

## 「慰安婦博物館」の敷地、最終確定

戦争と女性の人権博物館鳥瞰図

[http://news.naver.com/news/read.php?inode=LSD&office\\_id=001&article\\_id=0001438223&section\\_id=103&menu\\_id=103](http://news.naver.com/news/read.php?inode=LSD&office_id=001&article_id=0001438223&section_id=103&menu_id=103)



来年末、独立公園内に完工目標…建設費用募金がカギ

(ソウル=聯合ニュース) イ・ユニオン記者= 韓国挺身隊問題対策協議会(挺対協)は、ソウル西大門区ヒョンジョ洞西大門独立公園内の売店敷地を「戦争と女性の人権博物館」建設地として最終確定したと16日明らかにした。

戦争と女性の人権博物館は、日帝植民地の歴史とアジア諸国の被害の実態、特に日本軍慰安婦の女性たちの被害と人権問題などの各種資料を展示するための空間で、挺対協が1994年から建設を推進してきた。

挺対協は、8月18日ソウル市都市公園委員会から最終許可を受けて敷地を確定し、地下1階、地上3階、延建坪390坪の規模で博物館を建てる計画だ。

挺対協関係者は、「西大門独立公園内に博物館を作ることによって、観覧客に日帝侵略史と慰安婦問題をより効果的に見せられるようになる」と話した。

挺対協は、来年の3・1節に博物館着工に入り、来年12月初め完工、翌年の2008年3・1節に開場するという目標を立てているが、まだ建設基金が充当されおらず、着工時期は多少不透明だ。

挺対協側は、「総建設費用の70%以上確保されなければ、建築許可が受けられないが、現在30億ウォンの建設費用のうちわずか3億ウォン程度が募金されている状態だ」、「建設基金募金のために八方手をつくして努力している」と話した。

戦争と女性の人権博物館建設委員会(常任共同建設推進委員長カン・ジウォン、申恵瑋造銀)は、基金募金のための方案の一つとして、19日午後1時国家人権委員会学びの場で博物館建設事業の説明会を持つ予定だ。

# 「慰安婦」決議案

## 日本政府はきちんと反論せよ

こんな問題の多い決議案を放  
置すれば、日米関係に禍根が残  
る。日本政府はきちんと反論す  
べきである。

米下院の国際関係委員会が、  
いわゆる従軍慰安婦問題で日本  
非難決議案を議決した。

決議案は、「20万人もの女性が性奴隷  
にされた」「家から拉致され……性的な  
強制労働につかされた」などと、裏付け  
のない記述が数多く含まれている。

慰安婦問題は1990年代初頭、二部  
会国紙が、戦時動員制度の「女子挺身  
隊」を「慰安婦」と呼んだと、歴史

を捏造して報道したことから、日韓間の  
外交問題に発展した。

当時、「慰安婦狩りに従事した」と名  
乗り出た日本人もいて、これも「強制連  
行」の根拠とされた。だが、この証言は  
作り話だった。90年代半ばには、学術レ  
ベルでは「強制連行」はなかったことで  
決着がついた問題だ。

にもかかわらず、96年の国連人権小委  
員会報告書や今回の決議案のように、事  
実誤謬や虚言に満ちた日本批判が繰り返  
されるのは、日本政府が毅然と反論して  
こなかったためである。

米下院委員会が議決されたのは初めて  
だ。外務省は何をしていたのか。本会議  
上阻止が最優先だが、一度と失態を繰  
り返さぬようにすべきだ。

決議案には、「慰安婦の悲劇は20世紀  
で最大の人身売買」などと、歴史認識への  
バランス感覚を欠いた表現も目立つ。

第2次大戦中、ドイツは占領地域で組  
織的な「女性狩り」をしていた。にもか  
かわらず、米議院がこれを二度も問題に

していないのは、なぜか。

占領下の日本には、占領軍将兵専用の  
慰安施設があった。もとは占領軍将兵  
の性暴力を恐れた日本側の主導でできた  
ものだが、占領軍の命令で設置された施  
設もあった。決議案に賛成した議員たち  
は、こうした事例も指摘したのか。

慰安婦問題が混乱する原因は、93年の  
河野平官房長官談話にある。

河野談話は、確かな一次資料もないま  
ま、官憲による慰安婦の「強制連行」を  
認めただけのような叙述を含む内容になっ  
ている。以後、「日本が強制連行を認め  
た」と喧伝される材料に利用された。

河野談話について、安倍首相は国会審  
議で、継承する意向を表明した。同時に、  
「狭義の意味での強制性は事実を裏付け  
るものはない」とも指摘した。

狭義の強制性、つまり、官憲による「強  
制連行」がなかったことは確かではない  
か。首相はこう言いたいのだろうか。  
事実誤謬や歴史の「捏造」まで、「継  
承」する必要がないのは当然である。

< 2006.10.16 >

2006.10.16

読売

[文化日報 2006-10-18 15:11]

## 米下院「慰安婦決議案」霧散?

(=日本のロビー活動で…「表決もしないもよう」=) 米国下院国際関係委員会で全員一致で通過した日本軍慰安婦強制動員非難決議案が、日本側のロビー活動で事実上失敗に終わったという主張が提起された。

ポストグローブは、日本が下院議員たちを相手にロビー活動をした結果、最近ワシントンの韓人諸団体には、決議案が事実上失敗に終わり、表決に送られることもないという事実が様々経路を通して伝えられたと15日報道した。

日本が死力を尽くして阻止しようとしているのは、今年4月のレーン・エバンズ(民主・イリノイ)議員などが提出した決議案759号。

決議案は、日本が1930~40年台韓国や中国、フィリピン、インドネシア、オランダ領東インドなどで軍慰安所を運営し、強制連行してきた女性たちに性奴隷生活を強要したことを明示している。また、日本側が過去の過ちを明確に認めることを要求し、歴史論争でも韓国・中国など被害国の立場を代弁している。

決議案には、唯一の日系米国人下院議員のマイク本田(民主・カリフォルニア)議員をはじめとして、共和・民主議員50名余りが署名し、先月下院国際関係委員会で全員一致で採択された。

これに対し、日本政府はロビー力を総動員し、制止に出た。ロビー総責任者は、下院共和党院内代表を務めたボブ・ミカエル前議員。

彼は、40年以上ワシントンで日本の立場を代弁する役割をしてきたロビー会社ホゴン&ハッスンで仕事をしており、デニス・ヘスタッド下院議長やヘンリー・ハイド国際関係委員長など下院主要人物と親しい間柄であることが知られている。

ポストグローブは、日本軍慰安婦決議案の霧散を日本のロビー活動が、ワシントンでいかに強大な影響力を持つかを示す代表的な事例と分析している。

米国・アジア関係を研究する非営利機構「アジア政策ポイント(APP)」のミンディ・コトゥラー研究員は、「『慰安婦』という表現は、露出した問題に過ぎない」とし、「この事件は、米国の外交政策を左右する人々に、日本がいかに大きな影響力を行使しているかを示している」と指摘した。(ク・ジョンウン記者)

同時に、首相は「わが国が核保有する選択は全くない」と明言

意では今回の首相の対応は高い支  
持を得ている。首相が国民の声に  
耳を傾け続ける限り、今後も基本  
的には今の姿勢を変えることはな  
いと考える。

とりわけ、北朝鮮問題は、  
国連決議の採択後、いっそう緊張  
状況が続くだろう。今後とも出た  
して見せた露骨さと柔軟さを維持  
してもらいたい。

# 10年の取材本と映画に

日本人も中国人も歴史に向き合い、頁の交差を繰り返すこの思いを込めた」と話すのは中国出身のノンフィクション作家、張瑛さん(38)写真。中国人元慰安婦らへの10年に及ぶ取材結果を「ガイザン・シ」(山西)とその姉妹たち(梨の木舎)として刊行。同名のドキュメンタリー映画も完成し、東京で記念パーティーが開かれた。

「山西」は「山西省」の漢字と評判を取った女性のことだ。「戦時中、旧日本軍の生力軍の被害に遭い、晩年は山あいの村でひとりで暮らしていた。私が初めて山西省に取材に行ったのは95年秋。だが、その少



し前、彼女はいなくなっていた。足跡をたどると山西省に通い続け、同じような過酷な運命を生きた女性たちが目撃された。「山西省」だけでなく『山西』の多くの被爆者がいた。証言から浮かび上がるのは戦争による痛手と事実だ。撫順市生まれ。14歳のとき、中国残留女性から日本籍を奪った。87年に日本へ留学。6年前に日本人と結婚し、2人の子の父に。「多くの日本人に支えられてきた。恩返しのためにこの映画の懸け橋になりたい」。映画は来年2月公開予定。【明珍美紀】

人・模・様

2006.10.19 毎日(4) 11面

# 政治を読む

安倍首相を支持してきたブレインたちの間に戸惑いがある。日本の歴史や伝統への誇りを強調し、極東国際軍事裁判(東京裁判)に示された歴史認識に疑問を呈してきた首相の発言が就任以来、トーンダウンしているからだ。

中でも問題視されているのが、過去の「植民地支配と侵略」を謝罪した1995年の「村山談話」に93年のいわゆる従軍慰安婦問題に関する「河野談話」について、首相が国会で踏襲する考えを示した点だ。

首相は、河野談話について、明確な証拠もないまま、河野による「強制連行」を認めたかのような内容に、常々疑問を示してきた。事実認定が不明確なまま、外交の足かせになっているとの認識からだ。自民党総裁選前のブレインの学者らとの議論でも、「安倍政権において『上書き修正すべきだ』との結論に達した」はずだった。

それが一転、河野談話を容認したことで、ブレインの一人は、動揺が広がっているのは確かだ。中心的支援者にも「失望した」とはつきり言う人がいること戸惑いを隠さない。

政策の継続性、中国、韓国歴訪への配慮など、首相の「転向」の背景には様々な事情があるのだろう。しかし、「戦う政治家」「主張する外交」を標榜する首相を支持した人たちの多くが、中韓の「歴史カード」を前に譲歩を繰り返してき

## トーンダウン 募る不満

た日本外交を「戦い」の主張の証拠はないことを強調する。ことで変えてほしい。に踏みとどまっているとの思い出すのが、首相に就任したことで旧社会党の政策転換をなし崩し的に進め、村山談話・元首相だ。

村山氏は、94年6月、首相に就任すると、直後の国会で、旧社会党の自衛隊違憲論を合憲論へと転換。日米安保体制にも、反対の立場を変え、堅持する考えを表明した。この時も旧社会党の支持者は混乱した。

安倍首相の今回の変化について、村山首相の「右傾化」との見方もできる。ウイングを広げた、という首相周辺の解説もある。

首相が01年級戦犯の戦争責任を「政府として断定することは適当ではない」とするにとどめた河野談話でも、「狭義の意味での強制連行」を裏付けるものは「ない」と中韓両国による強

制の証拠はないことを強調する。ことで変えてほしい。に踏みとどまっているとの思い出すのが、首相に就任したことで旧社会党の政策転換をなし崩し的に進め、村山談話・元首相だ。

村山氏は、94年6月、首相に就任すると、直後の国会で、旧社会党の自衛隊違憲論を合憲論へと転換。日米安保体制にも、反対の立場を変え、堅持する考えを表明した。この時も旧社会党の支持者は混乱した。

安倍首相の今回の変化について、村山首相の「右傾化」との見方もできる。ウイングを広げた、という首相周辺の解説もある。

首相が01年級戦犯の戦争責任を「政府として断定することは適当ではない」とするにとどめた河野談話でも、「狭義の意味での強制連行」を裏付けるものは「ない」と中韓両国による強

2006. 10. 22 読売(朝) 4面

## 河野談話再検討が必要

### 下村官房副長官が言及

下村博文官房副長官は25日、その結果について、日、都内で講演し、従軍慰問館の募集や管理に旧日本軍などの関与があったことを認め、1993年の河野談話について「個人的には、安倍首相が河野談話と戦っている」と語った。

争への謝罪を盛り込んだ95年の村山談話を認めたことに関して、村山、河野談話を修正するなら、(新たな談話を)閣議決定しないと首相は国会で発言ができない。そういう努力をする時期ではない。首相がひよったのではなく、首相の立場からということだ。

2006.10.26 読売

慰安婦・河野談話  
継承を変更せず

塩崎官房長官

塩崎恭久官房長官は26日午前の記者会見で、下村博文官房副長官が従軍慰安婦問題に関する河野洋平官房長官談話(93年)の見直し論を唱えたことについて、「政府の方針は安倍晋三首相が国会で答弁したラインとまったく変わらず、河野談話を受け継いでいる」と述べ、政府方針に変更はないことを強調した。下村氏の発言が政府方針と異なる

ことについては「政治家 ことだ」と問題ないとの  
下村博文さんが判断する 認識を示した。

2006.10.26 毎日(今) 8面

## Abe protege urges 'objective' look at sex slave apology, draws flak

Kyodo News

Deputy Chief Cabinet Secretary Hakubun Shimomura's Wednesday remark that it is necessary to review the "historical facts" that led to a 1993 official apology for the sufferings of Japan's wartime sex slaves, or "comfort women," was quickly played down Thursday by the government.

Chief Cabinet Secretary Yasuhisa Shiozaki gave his assurance Thursday that Japan will uphold the 1993 apology issued by then Chief Cabinet Secretary Yohei Kono.

"I have been told (that Shimomura) spoke in a private capacity. The government's position in honoring the 1993 Kono statement remains unchanged," Shiozaki, the top government spokesman, told reporters.

Prime Minister Shinzo Abe said in a Lower House Budget Committee session earlier this month that he accepts the Kono statement.

When Abe was asked Thursday if Shimomura's remarks contradicted his, the prime minister replied, "I believe he made the remarks in his capacity as an individual Diet member. I see absolutely no problem at all."

In the 1993 statement, Kono officially acknowledged that the Imperial Japanese Army forced women in Asia into sexual servitude.

Shimomura said in a speech in Tokyo that the Kono statement should be reconsidered "by studying more about the facts after collecting objective and scientific knowledge."

Shimomura added, however, the government is unlikely to consider revising the statement or a 1995 statement in which then Prime Minister Tomiichi Murayama apologized for Japan's wartime aggression and colonial rule, due to a lack of time.

The matter is "an issue I am going to study," he said.

2006.10.27 JT

# 首相の「本音」を代弁？

## 閣内不一致 与野党から批判

従軍慰安婦問題への反省の念を表明した河野洋平（93年）平官房長官談話（93年）を巡り、下村博文官房副長官が直論に言及した問題は26日、波紋を広げた。麻生太郎外相らの核保有議論に続き、安倍首相と異なる見解を示す政府高官や議員が、閣内不一致の疑念を代弁している」との見方が出ている。

首相は26日夕、首相官邸で下村氏から発言の経緯について事情を聞いた上で、記者団に「私も官房副長官時代に議員の資格でいろいろ意見を出した。全く問題ない」と強調した。下村氏は26日、首相が就任後に河野談話に関する持論を変えたとの批判があることについて、「国会議員の発言と首相の発言は違っている。首相がひよったのではない」と擁護。河野談話を見直す必要性も唱えた。これに対し、民主、共和、社民、国民新党の野党4党の幹事長、書記局長は26日、国会内で会談し、「看過できない」として追及していく方針で一致。民主、国民新党の代表は首相の責任問題だと認識を示した。公明党内からも「核保有や河野談話で閣内からほと

河野談話 従軍慰安婦問題で、慰安婦のことは募集や管理、慰安所の設置などに旧日本軍が関与し、強制的だったと公式に認めて謝罪した。宮沢喜一内閣の時と93年8月4日、河野洋平官房長官（当時）が91年12月以来の政府調査結果を受けて発表。「心からおわびと反省の気持ちを示す」と表明した。安倍首相は97年6月の衆院決算委員会分科会で「強制性を検証する文書が出てきていない。談話の前提が崩れてきている」と主張したが、首相就任後は「政府の基本的立場は談話を受け継いでいる」と答弁した。

「談話の前提がかなり崩れてきている」と疑問視していた。しかし、就任後には「政府の基本的立場は河野談話を受け継いでいる」と軌道修正。首相のファンが反発する（山本一太参院議員）と指摘されていた。下村氏の発言について、首相のブレーンの一人、高橋経済大の八木秀次教授は「首相の支持者は就任後の発言に違和感を持っていただけに、下村氏のような説明がほしいと願っていた」と歓迎している。

【平元英治】

## 「河野談話見直し」 個人の見解と強調

下村官房副長官

下村博文官房副長官は27日午前の衆院外務委員会で、従軍慰安婦問題で旧日本軍などの強制性を認めた「河野談話」の内容を再検討する必要性に言及したことについて、「政治家下村博文発言だ」と述べ、官房副長官としての見解ではないとの考えを強調した。

その上で、公的立場と個人の立場を使い分けることの是非に関し、「過去の事例においても、内閣の構成員による個人的政治家としての発言はあり得たと理解している」と述べた。民主党の長妻昭氏の質問に答えた。

2006.10.27 読売(4) 2面

# 「河野談話の再検討必要」

## 下村氏、首相の心中を代弁？

### 野党「閣内不一致」追及へ

下村博文官房副長官が25日の講演で、従軍慰安婦問題で旧日本軍などの強制性を認めた「河野談話」の内容を再検討する必要性を唱えたことが、波紋を広げている。安倍首相は河野談話の継承を表明しており、野党側は、安倍内閣の「閣内不一致」として追及する構えだ。

下村氏は26日夕、安倍首相に会い、25日の講演での発言内容などを報告した。首相はこの後、「私も官房副長官時代、議員の資格でいろいろな意見を言った。安倍首相も就任前は河野談話を批判してきただけで、下村氏を擁護した。従軍慰安婦問題における旧日本軍などの強制性を河野談話が認めた点については、政府内にも疑問の声がある。」

1997年3月の参院予算委員会でも、当時の平林博が「河野談話を本格的な立場だ」と下村氏を批判し、安倍内閣の火消しに努めたが、与党内でも「河野談話の趣旨を正確に理解し、閣内一致を確保する必要がある」との意見が出た。下村氏は26日の記者会見で、「河野談話を受け、政府は閣内一致を確保する必要がある」と述べた。

内でも「河野談話の趣旨を正確に理解し、閣内一致を確保する必要がある」との意見が出た。下村氏は26日の記者会見で、「河野談話を受け、政府は閣内一致を確保する必要がある」と述べた。



外は狙われる？

かわにしよしと

社民党の又市幹事長も「閣内一致を確保するべき」として、野党4党が結んだと強調した。

2006.10.27 読売 4面

河野談話見直し  
「発言は私見だ」

下村副長官

下村博文官房副長官は  
27日の衆院外務委員会  
で、従軍慰安婦問題に関  
する河野洋平官房長官談  
話(93年)の見直しに言及  
した自身の発言について  
「河野談話は安倍政権で  
もまづいっ引き継ぐのが

当然だ。その上で、個人  
的に従軍慰安婦問題を研  
究していきたいと言っ  
た。過去にも同様に個人  
的な政治家としての発言  
はあり得た」と述べ、閣  
内不一致には当たらず問  
題はないとの認識を示し  
た。

【平元英治】

2006.10.28 毎日(朝) 5面



## 社説

### 問題の核心は「強制連行」の有無だ

#### 河野談話

この発言のどこが問題だと言  
うのだろうか。

いわゆる従軍慰安婦問題に関  
する河野洋平首相の談話につ  
いて、「研究」の必要性を指摘  
した下村博文官房副長官の発言  
のことである。

民主党など野党側は、河野談話の「継  
承」を表明した安倍首相の答弁と矛盾す  
るとして「間内不一致」と批判する。

下村氏の発言は、「個人的には、もう  
少し事実関係をよく研究しあつて、その  
結果は、時間をかけて客観的に科学的な  
知識をもつて収集して得るべきではな  
いか」と思っている」というものだ。

元慰安婦への「お詫びと反省の気持ち」  
を表明した河野談話は、その前提となる

事実認定で、旧日本軍や官憲による「強  
制連行」があったことを認める記述とな  
っている。韓国政府から「日本政府は強  
制連行だったと認めよ」と迫られ、十分  
な調査もせずに閣議決定された。

慰安婦問題は、一部全国紙が勤労動員  
制度である「女子挺身隊」を「慰安婦狩  
り」だったと虚報したことが発端だ。慰  
安婦狩りをやったと「告白」した日本人  
も現れたが、これも作り話だった。政府  
の調査でも、強制連行を示す直接の資料  
はついに見つからなかった。

河野談話が、「客観的」な資料に基づ  
く社会「科学的」アプローチより、「反  
日」世論に激した韓国への過剰な外交的  
配慮を優先した産物だったのは明らかで  
ある。そうした経緯を踏まえ、下村氏は

「研究」の必要性を指摘しただけだ。

民主党などがそれでも問題だと言うな  
ら、強制連行の有無という河野談話の核  
心部分をどう考えるのか、自らの見解を  
示してから迫るのが筋であろう。

河野談話の「継承」を表明した首相も、

「狭義の強制性」との表現を使い、強制  
連行は「今に至っても事実を裏付けるも  
のは出ていない」と指摘している。下村  
氏の発言は首相の答弁と矛盾しない。

仮に首相答弁と違っていたにせよ、歴  
史認識も絡むような問題で、「個人的」  
と断った見解まで、完全な一致を求める

のは、かえって不健全ではないか。

政府見解は、金村玉案のように継承し  
なければいけないと決まっているもので  
はない。おかしいところがあればただす  
のは当然のことだ。

大事なのは事実である。

軍や官憲による強制連行はあったか、  
なかったか――。政治的な思惑や過剰な  
外交的配慮を排し、歴史学者らの「研究」  
にゆだねるべき性格のものだ。

その「研究」の結果、やはり強制連行  
の事実が見つからないのであれば、河野  
談話は見直されるべきである。

2006.10.31 読売 3面

# 台湾支配 帝国の端緒

## 歴史と向き合う

第4回 「帝国」の記録 ④

### 教室で進めた同化政策



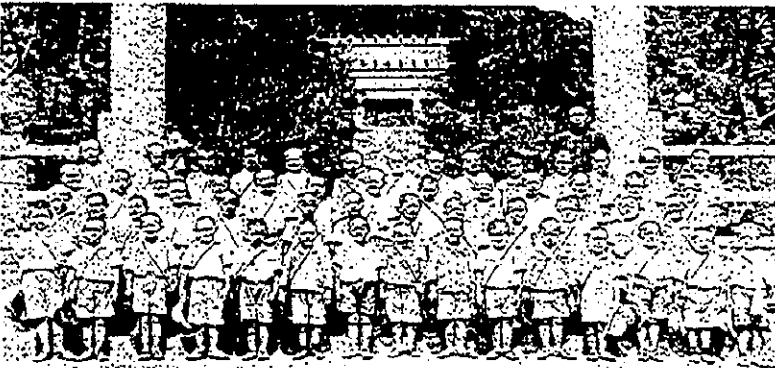
台湾の同化政策は、日本が台湾を支配する上で最も重要な手段の一つであった。その中心は、学校教育による文化の同化であった。日本は台湾に到着した翌年から、台湾人に日本の学校に通わせることを始めた。最初は、台湾人の子弟が日本の学校に通うことは非常に困難であった。しかし、日本は台湾に多くの学校を建て、台湾人に日本の学校に通わせることを奨励した。台湾人は日本の学校に通うことで、日本の文化、言語、習慣を学ぶことができた。これは、日本が台湾を支配するための重要な手段であった。

### 「外地」制度上は差別

台湾は日本にとって「外地」として扱われた。これは、日本本土と台湾とに明確な区別がつけられていたことを示している。台湾人は日本本土の人々と比べて、法律上、政治上、経済的に多くの差別を受けた。例えば、台湾人は日本本土の人々と比べて、選挙権がなかった。また、台湾人は日本本土の人々と比べて、多くの職業に就くことができなかった。これは、日本が台湾を支配するための重要な手段であった。



かつての小学校を撮影した。日本人と台湾人の児童が一緒に学んでいた。写真は台湾の台北市で撮影されたものである。



### 功績にも触れる教科書

日本は台湾を支配する上で、多くの功績を挙げた。教科書には、日本が台湾に果たした功績が詳しく記述されている。例えば、日本は台湾に多くの学校を建て、台湾人に日本の文化、言語、習慣を教えた。また、日本は台湾に多くの道路、橋、鉄道などを建設した。これは、日本が台湾を支配するための重要な手段であった。

### 政治が生んだ「親日」と「反日」

台湾の政治状況は、日本による支配によって大きく変化した。日本は台湾に多くの学校を建て、台湾人に日本の文化、言語、習慣を教えた。これは、台湾人に「親日」の感情を生み出した。しかし、日本は台湾に多くの差別を課した。これは、台湾人に「反日」の感情を生み出した。台湾の政治状況は、日本による支配によって大きく変化した。

日清戦争後に台湾が日本に割譲された。日本は台湾を支配する上で、多くの功績を挙げた。教科書には、日本が台湾に果たした功績が詳しく記述されている。例えば、日本は台湾に多くの学校を建て、台湾人に日本の文化、言語、習慣を教えた。また、日本は台湾に多くの道路、橋、鉄道などを建設した。これは、日本が台湾を支配するための重要な手段であった。



この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。

この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。...



この地図は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした場所を示している。

この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。...

学校で母語禁じ「忠誠」丸暗記



この写真は、学校で母語を禁じ、忠誠を丸暗記する様子を写している。

「劣等」扱いに反発 特攻を覚悟

血族名継ぐ伝統も排斥  
この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。...

この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。...

政治的背理「親日派」今も憎悪の的

この人物は、朝鮮半島の歴史に重要な役割を果たした人物である。...

政治の波もまれた満鉄資料

[illegible][illegible]

1. 日本は、戦後、経済的、政治的、文化的に、  
 2. 世界に、大きな、影響を、与えて、来た。  
 3. 日本は、戦後、経済的、政治的、文化的に、  
 4. 世界に、大きな、影響を、与えて、来た。  
 5. 日本は、戦後、経済的、政治的、文化的に、  
 6. 世界に、大きな、影響を、与えて、来た。  
 7. 日本は、戦後、経済的、政治的、文化的に、  
 8. 世界に、大きな、影響を、与えて、来た。  
 9. 日本は、戦後、経済的、政治的、文化的に、  
 10. 世界に、大きな、影響を、与えて、来た。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

# 歌人が聞いた歴史の爆音



「二重二重」の五重と

「それでは、この本は、何の用だか、お尋ね願ひたい。――」

爆音の

[illegible][illegible]

「私の心に」

[illegible]

大隈侯を拒否して、翌明治8月に彼を執政とする新立憲国家をつくる。これが親清派である。

日本は同年8月に露土協定を承認したが、日本の日露協定を承認するに際しては、露土協定を承認の条件を提出した。日本はこれを

『アジア解放』をじた先兵士』(『文壇下』)



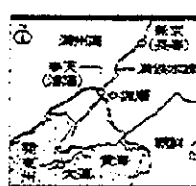
李瑞野編著・張祥美審

[illegible][illegible]

二 厭な直覚

[illegible]

海軍は既に海軍に定着した。海軍は「王族（皇族）を統率する」が、「王道（王）」をスローガンに、海軍は独立国家の専断をとったが、国防の必要など、英連邦は南東のインドネシア人の支配」です。

[illegible][illegible]

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 1905 | 日露戦争後のポーツマス条約で、シベリアから中国・朝鮮の露領権を回復 |
| 1906 | 日本の露領権を收回（露領）を以て                  |
| 1915 | 日清戦争に勝利し、支那への要求                   |
| 1921 | 日露戦争後、日本は                         |

|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 1992 | て、田中首相は、<br>山梨省に赴き、<br>山梨省の発展を促<br>し、張作霖を慰<br>問 |
| 1991 | 山梨省が東京湾の<br>防波堤を築設、洪水<br>被害に                    |
| 1990 | 湖上国境、湖内<br>東部の国境海防が<br>整頓された                    |

[illegible]

ら派遣されて東京の理髪師も数人の軍医と婦人だ  
たが居り、實質的には日  
本軍にしかつた。4525  
に戦死したものに消息。中  
に長崎の軍医であるとい

ホエ; と呼んでいる。

## 「私の心に厭な直覚

100、東洋の文明、日本、支那  
 111、支那の文明、日本、支那  
 112、支那の文明、日本、支那  
 113、支那の文明、日本、支那  
 114、支那の文明、日本、支那  
 115、支那の文明、日本、支那  
 116、支那の文明、日本、支那  
 117、支那の文明、日本、支那  
 118、支那の文明、日本、支那  
 119、支那の文明、日本、支那  
 120、支那の文明、日本、支那

機に王族連立を企図し、国華一會での  
の孤立を免れぬきかけとなった。  
博識は34年に東京に居住した。純  
九郎は「王族（日本皇親家）を誅す  
爲め」に「王道義士」をスローガン  
に、法向寺に独立国家の旗号をとっ

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

■ 中国では「偽満州国」 ■

1931年8月、滿洲に駐屯していた  
白根陸軍の部隊「関東軍」が、奉天  
郊外で海陸軍を演習、これを中國側  
の工作だとして軍事行動に訴えた  
（満洲事変）。関東軍がその機密  
記録や石炭の賣手が死罪に処置し  
いた真実だった。中國東北部を占  
した関東軍は、清治最後の日を待

明日は「大東亜共栄圏」

## 10.25

大東亜共栄圏をのこる動き  
(太子はインドネシアでの出奔)  
941 東欧連立案、マレー半島にも上陸  
太平洋戦争終結する(12月)  
942 マニラ占領(1月)  
オランダ領東インド(インドネシア)  
侵襲に成功した  
シンガポール占領(2月)  
東インドの首領マダガ(ジャカルタ)  
を占領(3月)  
ミッドウェー海戦で大敗(5月)  
ガダルカナル島から撤退(2月)  
東欧連立が東部連立に転換(4月)  
アッツ島とグアムに上陸(5月)  
インドネシア人からなる前衛義勇軍  
が成立(10月)  
東欧で開かれた大東亜会議で、大東  
亜連立が発表(12月)  
944 インパール作戦で大敗、サイパンを  
陥落(7月)  
小坂首相「インドネシアの独立を正  
常化する」と発表(8月)  
945 レビテラ占領(10月)  
東ジャワ・ブリタルに日本軍派遣が  
決定(2月)  
西ジャワ・インドラマニで農民反乱  
が起る(4月)  
独立運動指導者の死! 怒を含く(5月)  
ボツダン宣言発表(8月)  
スカルノ、インドネシアの独立を宣言  
(8月)  
インドネシア、終戦処理で動揺した  
英米軍との交渉開始。その後のオランダ  
軍との間で決裂(9月)  
独立戦争が終結し、オランダがインド  
ネシアに降参し降参(12月)

## ● 戦争遂行の手段 ●

「大東亞共栄圏」は、太平洋戦争の時期に日本が唱えた、日本を中心とするアジアの国々をバックボーン、1937年12月8日、太平洋戦争の突如のハワイの真珠湾攻撃、日本海軍の太平洋戦争を始めるなど、米英オランダに宣戦布告した。日本はこの戦争を「大東亞戦争」として、日本の国策に定めてからアジア諸国と解決し、アジア人による太平洋の「大東亞共栄圏」を建設するといふ戦前戦中の主要な方針となつた。43年11月には、日本側からの太平洋の「大東亞」(中国の東部、南洋、タイ、ビルマ、フィリピン、インドネシア等)の代表者を集めて太平洋戦争を東洋で解決、世界の平和を築く「大東亞共栄圏の建設」が、太平洋戦争の目的であるといふことが明確で、東洋の平和は日本の戦争目的の手段だった。各地で抵抗運動が起るが、日本の戦争はこれにも影響しなかった。たゞし、戦争の終結、インドネシアなど地方に先立たれたことに起因して、その歴史的背景を研究する需要がある。

[illegible][illegible]

1. 本報告は、本報告の作成に  
 関係した関係者の同意を得た  
 上で作成されたものである。

祖国捨て独立戦争で戦死

[illegible]

「独立に寄与」評価の声も

即ち「新編」と改題された。この改題は、  
 ①新編の「新」は、新編の「新」に  
 ②新編の「新」は、新編の「新」に  
 ③新編の「新」は、新編の「新」に  
 ④新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑤新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑥新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑦新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑧新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑨新編の「新」は、新編の「新」に  
 ⑩新編の「新」は、新編の「新」に

[illegible][illegible]

## 第4部「帝国」の記憶 ⑤

の正統を重んじ、敵い生命を  
られた二百万本の戦死者の  
上に舞かれたと云われる  
注ぎきき「て」を「て」  
昭和の安福憲法は当時「こ  
其の事務局長であり、新  
々々も似た構図を描いてた  
「この事務局長は安福

「村山」

[illegible][illegible]

売院院長  
河野洋平氏  
インタビュー



1951年4月、88歳で東京上野公園  
 東京博物館の特別展「浮城物語」の開  
 展を記念して「浮城物語展覧会」を新  
 館で開催した。この展覧会は、東京市  
 立中央図書館、東京市立中央図書館  
 及び、東京市立中央図書館の蔵書に  
 関係する資料を展示した。この展覧会

本邦「下谷」地区に在る石橋  
渡り（下谷橋）が、明治50年  
1月11日の、阪神大震災  
の際に壊れたが、戦後40年  
経過し、H26年3月現在、未  
だ修復工事が完了しない。

[illegible][illegible][illegible]

# 「大東亜共栄圏」とは何だったか

## 歴史と向き合う

対談

第4部 「帝国」の記憶

台湾から大東亜共栄圏まで、所収日本は影響を及ぼした。シリーズ「歴史と向き合う」の連載第4部「帝国」の記憶。では日本が、歴史に与えた影響はどのようなものであったか。本書を著した、山崎信一さんと、大東亜共栄圏、戦後日本の歴史認識の問題を話し合ってもらった。  
(文責 編集委員・三浦俊策)

### 植民地持ち変化した本国 徹底した同化政策を実行

山崎



山崎 信一さん  
京都大学名誉教授  
(左から) 山崎信一さん、三浦俊策氏

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当てて、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。



山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

### 民族自決の流れ 日本逆行 優越意識からの脱却課題

山崎



三浦 俊策さん  
京都大学名誉教授  
(左から) 三浦俊策氏、山崎信一さん

三浦さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

三浦さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

三浦さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

山崎さん、本書は「大東亜共栄圏」という言葉が、戦時体制の中で、日本が世界に示した姿を、戦後、戦前、戦中、戦後の日本が、どのように変化したか、という点に、焦点を当て、その変遷を、詳しく、丁寧に、追っている。

毎週水曜・木曜日掲載

# 人身売買撲滅へ啓発

人身売買の撲滅に向け、日本が取り締まりを強化して約2年。昨年夏は、売春などを強要されていた外国女性12人が帰国され、03年度の6人比べて激増した。

「日本の成果はめざましい。それと助けを求める人はもっと多いはず」。国際移民機関(IOM)のリチャード・タンシガ、人身取引対策課長(46)は言う。

被害女性が助けを求めて交番に駆け込んだり、警官が女性を「出稼ぎ売春婦」と見て、訴えに首を傾けないこともある。「警官の意識の向上が大切。彼女たちは不法移民



在者ではなく、犠牲者。敬愛をもって接すれば貴重な情報が得られ、人身売買を撲滅する犯罪者の摘発につながります」

英国出身。アフリカ・ニスタンやインドネシアのIOM事務所代表として紛争や災害から逃れた避難民保護に長く携わった。

人身売買を取り締まる捜査当局の意欲の低下はともかく、警官向けに被害者採取のノウハウマニュアルを作ったり、人身売買の残酷性を伝えるCMを作ったり。「意識啓発も大切な仕事。総合的な対策を進めてゆけば、世界で200万人ともいわれる人身売買の犠牲者が減ります」【日本経済新聞】

2006. 10. 19 毎日(夕) 11面